

田池留吉著

意識の流れ

—アルバートとともに—

あなたは、今までにこの世の中のどこかに真実というものが
あるのではないか、今はまだ何かわからないけれど、絶対に
変ることのない本当のことがあるのではないか、と考えてみ
たことはないですか。私がお伝えしたい真実とは「私達人間
は肉ではありません。本当の姿は意識であって永遠に存在す
るものです」ということです。真実の世界はあなたの頭では
分からぬ、あなたの心でしか分かりません。

はじめに

あなたは今、意識の流れを感じていますか。すべての意識はその流れの中にあります。

私は一人でも多くの方に真実を伝えるため、初めてこの地球に肉を持ちました。セミナーとホームページを通して約二十年の間、真実を伝え続けてきました。その甲斐あって、ようやくその真実に目覚めた方が、まず一人現れました。そして、この方を初めとして多くの方々と二五〇年後、アメリカの地にて肉を持ち、今世で学んだものを繋いでいくシナリオが次第に明らかになってきました。私達は今、最高に幸せです。現在の私達にとって、生も死もただありがとう、幸せ、喜びです。人生は苦ではなく喜びだということです。

私がお伝えしたい真実とは、「私達人間は肉ではありません。本当の姿は意

識であつて永遠に存在するものです」ということです。まさにコペルニクス的転回です。肉を本物としてきた人類は、その時からずつと間違つてきました。今も間違つています。その歴史を見れば明々白々です。平和を叫び、幸せを願い、祈り続けてきた現実はどうだつたでしようか。いまだに無知とエゴと欲にまみれ、真実の世界を知らず意識の流れに逆らつて生きている人類は、これらも本当の平和とか、幸せ、喜びなど分からぬまま、地獄から出て地獄に帰る転生を限りなく繰り返していくことでしょう。

あなたは意識の流れを知らないまま死んでしまつてもいいのでしょうか。私があなたが真実の世界を知つて、本当の自分に出会い、本当の人生を生きていくつていただきたいと願つています。

ところで、私は若い頃からずつと私自身に次のような事柄について問うてきました。

目に見える世界と目に見えない世界との間は一体どうなつているのか。

私はどこから来てどこへ行くのか。

私はなぜ生まれてきたのか、どうして今ここにいるのか。

母親とは一体私にとつてどんな存在なんだろうか。

私は一体何者だろうか。死ぬまでに一度でいいから本当の私に会いたい。

私が色々のことで苦しんだり、悩んだりするのはどうしてか。

今そのまま精一杯生きていけばいいのか。何か間違っているのではないか。
神仏というものは本当に存在するのか。本当に私を助け守ってくれるのか。

このまま死んでいいのか。死後の世界はあるのか。天国地獄は本当にあるのか。

セミナーを閉じるに当たって、私は私自身に問うてきた事柄を明らかにしながら、真実の世界、意識の流れをはつきりと書き残しておきたいという思いが強くなつてきました。そこで真実にいち早く目覚められた方に私の思いを伝え

たといへ、「はい」と一つ返事で引き受けくださいました。この方からは毎日のようにメッセージが私のといへに届きます。それらはすべて私のホームページ (<http://www13.ocn.ne.jp/~utamate/>) に核からのメッセージとしてお伝えしています。その中から抜粋したものを紹介しておきましょう。

私は信じていつただけです。心の中から突き上がつてくる思い、噴き上がつてくる思い、肉で止められないその体験こそが動かし難い現実でした。それを私は頭で分析せずに、ただ感じ、信じていつたのです。言うならば、それほど衝撃的であつたということでしょう。だから心で感じ、心で分かつていく以外にどうしようもないと言えます。どんなにしても肉で分かる世界ではないとうことです。

私がどんどん広がつて、私はアルバートを信じるもの、私の中にアルバート^{*}が実在しますという思いが溢れ出でくる、同時に間違つてきましたという懺悔^{さんけい}の思いも噴き出してくる、そして限りない温もりと優しさが心に充满してきま

す。これらはみんな頭ではないから、信じる信じないの範疇はんちゅうではなく、ただ私にはそれが現実であり、その世界が確かにることを私は告げているだけです。温もりに触れた意識達の思いだけが心に響き、そして、それは紛れもなく私自身、私が噴き上がります。喜びがどんどん大きくなる、間違つてきた自分に出会うたびに喜びが大きくなっていく、それは肉の世界では絶対あり得ないことです。そこが肉基準と決定的に違うところです。その醍醐味だいごみを私の心は知っています。

温もりにどんどん触れていくから真っ黒がどんどん出てくる、真っ黒がどんどん出てくるからさらに温もりの世界へと浸透していく、そうです、アルバートへ帰つていく意識達の喜びは計り知れないものです。その喜びの道をあなたもどうぞ歩いていきませんか、ぜひ歩いていってくださいと伝えていきます。

私は自分の中の膨大なエネルギーを心で見つめています。狂い続け、苦しみ続けてきたそのエネルギーが、今たまらなく嬉しいと心で喜びの雄叫びを上げ

ています。

今、肉を持つてこのように真実に触れるチャンスを用意してきた、自分にチャンスを与えたその思いに、私の心は触れています。ようやく今世真実に辿り着きました、私は喜びでした、私は温もりでした、その思いが心に広がつていくとき、本当に今世肉を頂いて生まれてきたことに代えるものは何もありません。

田池留吉を通して流れるアルバートの波動、私の心に真っ直ぐに届きます。意識達がすぐさま反応して私の肉はどこにもありません。心と心が反応し、ただ真っ直ぐにアルバートを呼んでいます。懺悔とともに沸き起る喜びは、まさに私自身、アルバートを待つて待ち続けてきた私の心の叫びです。そんな自分自身を心で迎え入れるたびに、嬉しさが、喜びが広がっていきます。肉を持てたことが嬉しい、本当に嬉しい、この肉は私であつて私でない、しかし、この肉にはただただありがとう、です。私は今、そのような気持ちです。

肉の世界から自分を見つめ、苦しみのた打ち回ってきた自分自身から、今世

やつとその肉の世界から離れて自分を見つめることができました。私は幸せな存在でした。

アルバートの波動が形となつて現れてくる二五〇年後、私もまたひとつの肉を頂きます。ひとつの肉を頂くこと、それだけでもう充分幸せな私でした。

私もあなたもやがてその肉を離すときが必ずやつてきます。肉をもらつてきした私達には、それは避けて通れません。病気になり医学処置の結果、一時寿命が延びても、やがて時が来れば肉体細胞は朽ち果てていきます。

そういうことを見つめながら、あなたは学んでこられましたか。私はいつも「死」を心に留めながら学んできたように思います。もうひとつの私のテーマは「愛」でした。だから学びに触れたときからセミナーは、私の心をつかんで離しませんでした。ここに私が探し求めてきたものがある、その思いで私は自分なりにセミナーを消化してきました。

私は私の目で、耳で、そしてこの心で、しつかりした足取りで歩んできまし

た。自分のエネルギーをセミナーに集中させてきた、決して生半可なお遊びではありませんでした。ふたつのテーマを何としても自分の中で消化していくたいという思いがありました。やがて、それが田池留吉の指示示す方向だと自分の中で確認がつたのです。自分の心が叫びました。本当に嬉しかつたです。長い転生を繰り返してきた心の歴史の中で、探し求めてきたものによく巡り会えた、その手ごたえは私の中で充分でした。

肉を離すとき、離した後、その現実をしつかりと見据えながら、私はこれらも自分の確信した道、アルバートの道を一步、一歩歩んでいきます。それが自分が本当に望んできたこと、そう心で確認できたことが今はただただ嬉しいです。

※アルバート

本文にも説明がありますが、アルバートとは、すべてを包み込む喜びのエネルギーということです。そして、それは本当のあなたでもあるのです。

さて、本文はあたかも私がその方の身体を使って書き記したもののようになっています。すなわちこの本は、この方の肉の思いは一切混ざることなく、私に心を合わせながら書き記しるされたものであるということです。また、この方は俗に言うところの私のゴーストライターではありません。同じ基盤に立ち、そこから心で感じている真実の世界を、このように一冊の本にまとめさせていたいのです。

私達は「私はあなた、あなたは私」という意識の世界の真実、そして、その喜びを、このような形で残すことができたことが、ただただ喜びです。私達は二五〇年後の出会いを、ただただ喜びで待つ仲間です。ともに同じ方向を見つめ、ともに歩いていく喜び、幸せを、あなたもその心で感じていってくださることを私達は待っています。

一〇〇四年十一月

田池留吉（一九二六年生）

意識の流れ

—アルバートとともに—

この本を手に取り、ページを開き、活字を目で追うあなたの心に、きっと何かが伝わっていくことを信じています。

ここに書かれているすべてを理解してもらおうとは思っていません。でも、その行為が、心に問いかけを持たれているあなた……、心の世界があると思つているあなた……、あなたのその心に何かが伝わると私は心から信じています。

今はまだ私とあなたを繋ぐものは何も存在していません。あなたは私を知らないし、私はあなたを知りません。でも、もしかしたらこの本を読み終える頃には、私とあなたを繋ぐものを、あなたは見つけるかもしれません。また今見つからなくても、五年先、十年先、いえ、もつと先であなたは私と出会うかもしれません。私はそのような思いで、これから先のページを埋めていきます。
まだ見ぬあなたに私は私の思いを込めて、ここに書き記したいと思つていま

す。

私の思いというのは、あなたにぜひ本当のことを知つてもらいたい、眞実に出会つていただきたいということなのです。

あなたは、今までにこの世のどこかに眞実というものがあるのではないか、今はまだ何か分からぬけれど、絶対に変わることのない本当のことがあるのではないか、と考えてみたことはないですか。

あなたは本当のことを知りたくはありませんか。本当のこととは何だと思ひますか。この本はそんなあなたに、あなたの心で答えてくれる一冊になつてくれると、私は信じています。

私はこれまで約二十年にわたつて、主にこの日本の国でセミナーを開かせていただきました。それはある年齢に達したとき、私はひとつの仕事をするため生まれてきたことが、自分で見えてきたからです。そして何らかの形で

私は自分の心で分かつたことをお伝えしたい、また、お伝えすることが私の喜びであるという思いを強く持つようになりました。それがセミナーという形となつて、約二十年間続けさせてもらつたということです。私はお伝えすることが喜びという思いだけで今日まで存在してきましたし、これからも全く変わることはありません。

セミナーに私のすべてを注いできました。私にはセミナーで名を残そうとか、財を築こうとか、セミナーに集つてくる人々を救つていこうとか、そういう思いは一切ありませんでした。ただ私は喜びでセミナーを開かせてもらい、喜びでセミナーを閉じていくだけでした。

セミナーに集つてきた人達は私の肉声を通し、また印刷物を通し、一通りのことはすでにご承知です。しかし、そういった方々でも本当にお伝えしたいことを分かつていただくのは難しいというのが、実際のところでした。それは本当のことはあなたの頭では理解できない、あなたの頭脳をはるかに超えたところに真実があるということが、なかなか理解してもらえたからです。頭

ではなく、知識としてではなく、自分の心で分かるということが分からぬ、難しかつたということでしょう。それは私達人間は、五官、すなわち目、耳、鼻、舌、皮膚を通して感じる世界が本当の世界であると思い、今、目の前に広がつてゐる形の世界に自分は生きていると思つてきたり、今も思つてゐるからです。確かに目に見えて、耳で聞こえて、手に触れる物がある世界は実感があります。だから、その世界こそが実在の世界であると信じて疑わない思いが、非常に強いのです。そして、その中で幸せになろう、喜びを見出そうと、それが「人生」と呼ばれる時間の中で一生懸命生きています。その思い、その考えが根本的に間違つてゐるということを、私は約二十年かけてセミナーに集つてくる方々に伝えてまいりました。

日常の中に喜びと幸せを見出そう、生きる生きがいを見つけ出そうと、一生懸命、真面目に生きていくことが間違つてゐるのではありません。そうではなく、真実を知らずに生きていくことが本来の生き方からずれてゐるとい

うことです。だから一生懸命、眞面目に人生を生きたとしても、その人生は本当に粗末な人生でしかないと、私は申してきました。そして、そのことをあなた的心で知つていてくださいとお伝えしてきたのです。

家庭を築き、仕事をバリバリこなし、我が人生を謳歌おうかしてゐるかのように見えていても、その人の心の世界を覗のぞいてみたら、さて本当に幸せであるのか、毎日を喜びで過ごせているのか、全く疑問です。なぜならば、その人達は自分がなぜ生まれてきたのか、どうして今そこに存在しているのか、そして、やがて自分が死を迎えたとき一体どこへ行くのだろうか、肉体の消滅とともに自分も消滅してしまうのだろうか、等々その問いかけに明確な答えを出せないからです。

生まれてきた意味も自分の本質も何も知らないまま、ただ時の流れの中で浮き沈みの人生を送られているに過ぎない、果たしてそれで幸せ、喜びの人生と言えるでしょうか。

身分、家柄、地位、名譽、財産、美貌びほう、才能、幸せな家庭とやりがいのある

仕事、たとえ、これらのものすべてを兼ね備えていても、その人が真実を知らなければ、その人の一生は順風満帆の人生にはならないと私は断言できます。それらのものは、その人が真実と出会つていくために必要なものであるに過ぎないのであって、そういうことによつて人間の価値は決められないからです。この世のものをいくら手中に收めようと、たつたひとつの真実の前には何の役にも立たないということです。それらのものに生きる価値を見出そうとすることこそが間違いであるということが、分からなくなつてしましました。

みんなが仲良く暮らし、みんなが幸せに豊かになるようには思うことは、時代を超えて変わらない思いであり、願いであるはずです。しかし本当に私達は幸せで豊かになつたのでしょうか。確かに物質的には豊かになりましたが便利になつたでしよう。でも何かがおかしい、どこかがおかしいと感じている方も少なからずいらっしゃると思います。ですが、そういう人達も何がおかしいのか、どこがおかしいのか、はつきりと分からぬ状態なのではないでしょうか。薄らぼんやり感じていることは、文化的、機能的で、利便的な生

活と引き換えに、「心」は貧しくなつたのではないかというくらいのものです。毎日毎日、目まぐるしく流れている時間の中で、どこかおかしいと感じつつも立ち止まって考えてみる人など、ほとんどおられないのが現実だと思われます。そんな時間の余裕も心の余裕も持てないし、また、いくら考えてみても分からぬというのが実情ではないでしょうか。

ところで、ここで「心」という言葉が出てきましたが、それでは一体「心」とは何なのでしょうか。私達はよく心は大切だと、心豊かにとか口にしています。世間には「心」を謳う書物はたくさんあります。今は心の時代だとも言われています。いわゆる宗教の世界はみんな「心」を説いています。しかし、その「心」が分からなくなつてしまつたのが私達人間ではないでしょうかと、私はセミナーを通して呼びかけてきましたのです。

あなたは今、ひとつの肉体を持っています。その肉体があるから、あなたは確かに自分は生きていると思っておられます。しかし果たして本当にそうなの

でしようか。肉体が生きているのではなく、「心」が生きていると考えられないでしようか。また、生まれてきた人間は必ず死んでいきます。どなたにも死は訪れるのです。死はその肉体が消滅するときです。では死を迎えることによつて、あなた自身は消滅すると思つておられますか。それとも靈や魂となつてさまよい続けていると思つておられるのでしょうか。肉体があなたなら、その肉体とともにあなたは消滅していくことでしょう。でも、あなたがその「心」であるならどうなのでしょうか。

その点について明確な解答を出せる人などいません。世間ではまことしやかに伝えられていますが、どの宗教書を紐解いてみても肝心なところはぼやけているのです。なぜならば真実を知らないままずっと存在してきたのが、私達人間だからです。その肝心なことというのが、今まで誰も解明できなかつたたつたひとつの中実です。その真実に出会うことが、本当の人生を生きるというこののです。だから私は少なくともこの本を手に取つたあなたに、本当の人生を生きてもらいたい、そして、ありがとうと言つてその肉体を離していくても

らいたい、そう思っています。

段々本論に入り始めましたが、ここでもう一度、あなたの日常に目を向けていきましょう。連日メディアを通してあなたの目に耳に飛び込んでくるものは、狂った人間社会をつぶさに示しているものだと思われませんか。人類がいかに堕落だらくしてしまったか、人間の愚かさを露呈ろていするニュースが続々報じられます。社会のひずみが陰湿いんしな犯罪を生み出すことに拍車はくしやをかけていっています。いじめも児童虐待じどうぎやくたいも、戦争、テロも狂つている人間社会を象徴しています。

真実を知らない大人社会の暗い思いは、確実に若者達の世界にまで及んできました。現実社会から逃避とうひするため、酒、タバコ、麻薬等々に溺れ、まだ年齢は若くても身体はボロボロ、心も疲れ切っていて生気がない、そんな若者達が溢れ出しています。そんな社会現象の中での、心の底に眠っている闇のエネルギーが、大人の年齢に達しないうちに暴発していきます。犯罪の低年齢化です。そして、それはテレビ、雑誌等のマスコミを通して、ますますエスカレー

トしていく傾向にあります。大人達はなぜそういうことが起きるのか、どうしてということがはつきりと分からぬのです。子供達の心は確実に荒んでいる、悲鳴を上げているにもかかわらず、眞実を知らない大人は、自分達の乏しい経験や学識の中で色々と議論を交わしているだけです。そして、その解決方法は分からぬまま、うやむやのうちに結局、時が流れていくだけなのです。

また、今はどこを向いても戦争です。家庭においては夫婦、親子、嫁姑、教育の場では受験戦争、職場では企業戦争、そして大きくは国と国、民族と民族、どちらも正義を振りかざし、自己を主張し合い、相手の息の根を止めるまで鬭いは続いていきます。これからますます世の中の混迷の度合いは増していくことでしょう。この流れに歯止めはかけられません。

人類が眞実に目覚めない限り、人類は救われません。神にも仏にも宇宙のパワーにも救う力などありません。では眞実とは何か、人類が眞実に目覚める時がやつてくるのか、ということに話題は移つてきますが、その前にこれから先を読み進めていく上で、あなたにとつてなじみがない「肉」という言葉が出

てきますので、ここで私は少し説明を加えさせていただきたいと思います。

あなたの肉体を含め五官を通して感じる世界を、ここでは「肉の世界」という表現を使っていきます。そして「肉のあなた」とは、その「肉の世界」に生きていると思つていてあなたのことを指しています。

肉の世界は文字通り、目に見え、耳に聞こえますから実感があります。しかし実は目に見えない、耳にも聞こえないけれど、あなたの心で感じられる世界があるのです。その世界のことを意識、波動の世界と伝えています。そして、その意識の世界こそが実在する世界なのです。ここで意識の世界が本物で、肉の世界はその影の世界に過ぎないということを、頭の隅っこに入れておいてください。そして今、あなたは「肉のあなた」と「意識のあなた」を抱えていると考えておいてください。

ところで、あなたが生まれてこれまで知つてこられた世界は「肉の世界」です。あなたは目に見える世界、肉の世界を本物の世界だと思つてきたからこ

そ、そこに喜びと幸せを求めて続けてこられたのです。すなわち「肉のあなた」ばかりを見つめてこられ、「意識のあなた」の存在を知らないでこられたのが、今現在のあなただということです。たつたひとつ肉を「自分だ」と思つてこられたのです。

しかし、そのことが唯一の間違い、誤りであること、そこから思いを一八〇度変えない限り、眞実の世界は見えてこないということを知つていてください。

さて、前書きが長くなりましたが、ここから本論とまいりましょう。本論とは次の二文です。

「私達は肉ではなく意識です。私達は意識、波動の世界に永遠に生き続ける命、エネルギーです」

これが私の人生すべてを懸けてお伝えしてきた眞実です。たつた二行の文章ですが、このことを私は頭ではなく、あなたの心で分かってくださいと申し上

げているのです。ただ、そう簡単には分かりません。分かつてくださるには、まだまだたくさん時間が必要とすることでしょう。しかし、このことは必ずあなたの心で分かることです。そして、あなたの心で本当に分かつていつたなら、あなたの物の見方、考え方、価値基準は全く変わっていきます。どう生きていけばいいのか、そして、どう死んでいいのか、その思いが全く変わつていきます。そして、なぜ自分は今肉を持っているのかということが心に見えてきます。

肉の世界は、はかなく消え去る影の世界です。しかし、その世界を本物として生き続けてきたのが私達人類でありました。でも、それは間違いなのです。だから、その結果を私達は自ら受けていかなければなりません。それが宇宙の法であり、その法の中に生かされている愛そのものが私達であるからです。肉を本物として生き続けてきた人類は、愚かな生き物になり果ててしまいまし。最先のことに心を振り回され、己の欲を満たし、自分の身を守り、自分を表していくこと、認めさせることに東奔西走する毎日を送っています。しかし

人類は自分達が愚かであるとは思っていません。人類は万物の靈長である、人類の智恵と勇気を持つてすれば、この宇宙をも動かしていくことができる、と豪語しているのです。その驕り高ぶつた欲望のエネルギーは、自らに返ってきます。それが宇宙のリズム、宇宙の法と合わないからです。私達もまた、その法の中に生かされていることを知つていかなければなりません。

私達人類は、すべての頂点に立つものとして、この地球はもとより宇宙をもがものにしようと、真っ黒なエネルギーを垂れ流してきたのです。そのエネルギーの中で地球という星は、今や瀕死の状態です。そして、そのような中にありながらも、人類よ、目覚めなさいと私達に警告を発してくれています。それが地球上で起こっている天変地異であり、これから人類が体験していく未曾有の天変地異です。天変地異は神の怒りではありません。天変地異は喜びです。眞実に目覚めゆくための喜びのエネルギーなのです。そして、その天変地異でしか人類が眞実に目覚めゆく手段は残されていないということです。これが私達人類にとつて最大かつ最終の愛なのです。

今、お伝えしていることは過去どの文献にも記されていません。いまだかつて真実に出会えた肉の人間はいないからです。意識、波動の世界こそが真実の世界であり、それは人類の頭脳では^{はか}計り知れない世界です。

過去、神、仏の世界、パワーの世界を説いてきた宗教者も、未知なる世界を探求してきた科学者も、みんな肉を本物とする基盤に立ち、真実を見極めようとしてきました。しかし、それでは真実は見えてこないのでした。その人達には自分の本質が分からなかつたということでした。人間はどこから来てどこへ行くのか、自分の心で解き明かすことができませんでした。

そして今、間違つた神、仏、パワー、宗教の世界を心に詰め込んできたあなた方に、このように一冊の本を介して真実を知つていってくださいと、私はお伝えしています。とは言つても、どこの馬の骨とも分からぬ私の伝えていることを、あなたはすぐには信じられないでしょう。しかし、このことはやがてあなたの心で証明されていきます。本当のあなたがあなたに伝えてきます。私

はそれを信じて待つてきましたし、これからも待ち続けていくだけなのです。

そこで、今まで誰一人として私のお伝えしたいことを分かつた人はいないのかというと、そうではありません。私はセミナーを通し、私のお伝えしたいことを証明してくれた、心で分かつてくれた私の仲間と出会わせていただきました。だから今、私は最高に幸せな時を迎えていて、我が人生万歳です。今世の仕事を終えて、意識の世界に戻れる私は本当に幸せです。

私とあなたは必ず出会います。今世出会えなくとも、私はそのことを信じています。肉のあなたはまだそのことに気付いていないでしょう。しかし、あなたの中の意識達が、もうその準備を始めています。だから今、あなたはこの本を手に取り読み進めているのです。

そうです、私達は二五〇年後に出会うのです。二五〇年後に私達が出会つてどうなるのか、二五〇年後の出会いは、あなたにとつてどんな意味があるのかということは、もう少し先でお話ししたいと思います。私はもうワクワクしな

がら、その時がやつてくるのを待っています。どこで待っているのかというと、それはあなたの心の中で待っているのです。どうぞ、あなたも私の仲間になつてください。永遠の未来を旅する私の友達になつてください。

話を先へ進めましょう。私はこれから一二五〇年後、アメリカのニューヨークというところに生まれてきます。その時の私の名前はアルバートと言います。えつ、そんなことどうして分かるのですか、そんなこと信じられない、と言われる方も、最初から話を否定しないで、もしかしたら、そんなこともあるかもしれないなあと思いながらで結構です、私の話に耳を傾けてください。

私は今も申しましたように、自分の来世を知っています。と言つても、これは私だけではなく、あなたにだつてちゃんと来世があります。来世だけではなく、過去に生まれてきたあなたもたくさんいます。そして今のおなたと過去のあなた、来世のあなたは別々の人間ではなく、どこかで繋がつてゐるのです。

もちろん生まれてくる国によって肌の色も違うし、時代によって姿、形も違います。だから今あなたと過去のあなた、来世のあなたは全く別人だ、自分と言えば私の名前はこれこれで、こんな顔をして、こんなスタイルをしているこの私だけだと、あなたは思っていることでしょう。でも、そうではありません。今の肉のあなたはすべてのあなたを代表して、そこに存在しているのです。すなわち、あなたはたくさんの自分自身を、その心で抱えながら存在しているというわけです。つまり今あなたと過去のあなた、来世のあなたを繋いでいるものは、あなたの「心」なのです。先ほども「心」ということに少し触れましたが、一口に「心」と言つても肉体を本物とするところからとらえると、それはその肉体の消滅とともに消えていくように思われます。しかし自分は永遠の中に生き続ける意識、エネルギーだという基準から見れば、その「心」という概念は全く違つてくるのです。肉にまつわる「心」ではなく、「心」は思い、エネルギーであること、よつて「心」とはそれのみで存在し、しかも永遠のものであることが感じられると思います。

『過去と現在と未来を繋いでいるものは「心」、私は「心」として永遠の過去から永遠の未来へと生き続ける存在である』この真実が本当にあなた的心でお分かりになられたら、今まであなたがとらえてきた周りの風景は、全然違つてくるのではないでしようか。

心、エネルギーが自分ならば「なぜ私はこのように肉体をもらつて生まれてきたのだろうか」

「この肉体がなくなつても私というものが存在しているならば、肉体がなくなつた後にも必要なことが、今、自分にとつて必要なことではないだろうか」「そうすれば、これから私はどう生きていけばいいのだろうか」

色々な問い合わせが上がつてくるのではないでしようか。

なぜ生まれてきたのかということから始まつて「今まで自分が正しいとしてきたものや選んできたものは、本当に正しくて、自分が心から望み選んできたものだつただろうか」

「私は自分の人生を本当に生きてきたんだろうか」

「この肉の私が本当の私でなかつたなら、本当の私とはどんな私なのか」

今まで氣にも留めなかつた事柄が次々と出てくるのではないでしようか。残念ながら、それに確實に答えてくれる人は、あなたの周りには今現在おられないと思います。

しかしながら、それを知る手立てはあります。それはあなた自身が、あなたの心を見ていけばいいのです。

さて、そこで心を見るということを初めて耳にされたあなたにとつては、それがどういうことなのか分からぬと思います。心を見るというのは日常のあなたの生活の中で、あなたが今何を思い、どんな思いを出しているかを、その都度、確認していくという作業です。あなたが語り、行動する背景には、あなたの思いがあるのです。何を語り、何をしたかを重視するのではなく、その時のあなた自身の思いを自分の心中で追つていく作業が、心を見るということです。

もう少し具体的な例を挙げてみましょう。

たとえば、あなたが人に何かを言われたとしましよう。あなたにとつてそれが嫌なことであつても、いいことであつても、その相手の口を通して語られた言葉によつて、あなたの心に何か動きがあります。いいことを聞かされたときは喜んでいたのに、同じ人から嫌なことを言われたら悲しくなつたり、怒つたり、落ち込んだりしませんか。それは一体どういうことなのでしょうか。相手の言葉や態度、あるいは目の前の出来事で自分の心が明るくなつたり、暗く沈んでいつたり、恐怖や疑い、憎悪の念を膨らませていつたり、とにかく心はいつもいつも動いています。その動く心を丹念に辿つていくと、私達はuzzと相手の言葉や態度によつて色々な思いを発してきることが分かるはずです。そして嬉しいとか、苦しいとか、つらい、悲しい、寂しい等々を繰り返しながら時を過ごしてきた、言うなれば、私はそのような様々な思いとともに、ある、色々なことを思つて、いる私がここにいる、といふことが見えてくると思ひます。心を見ていくと、悲しんだり、落ち込んだり、相手を罵つたり、そしてまた殺したいほど憎んだりする自分、相手を思い通りに動かそうとする自分が、はつき

りと見えてきます。

さらに相手がこう言つたから、こんな態度を示したから、こんな出来事にくわしたから様々な思いが出てくると思つてきたけれども、本当はそうではないのかもしれないと思えてくるかもしれません。なぜならば相手が何も言わなくて、何もしなくても、自分の心は動いていると感じるからです。また同じような場面に出会つても、そこから感じる思いも、出している思いも、その時その時で違つてゐるし、相手によつても違つてると気付きます。

それではその思いはどこから出でてくるのか、なぜ出でてくるのか、なぜ心はいつもいつもこんなに忙しく動いているのだろうか、心を見ていく習慣の中で、きつと色々なことが疑問として浮かび上がり、また色々な気付きもあると思します。

こうして日々、日常生活の中で動く心を見つめていくことも大切ですが、あなたの心がストレートに出る相手は、何と言つてもあなたを生んでくれた母親なのです。あなたの肉のお母さんには、あなたの思いがストレートに出てきま

す。あなたはあなたを生んでくれたお母さんを、今現在どう思われていますか。「お母さん」とあなたが心の中で呼んだとき、あなたの心に上がつてくる思いはどんな思いでしようか。それを正直に、ありのままにノートに書き綴る作業から、まず始めてみてください。自分を偽ることなく、飾ることなく思いを綴つていくことが大切です。

生まれて育ててもらつた過程の中でお母さんに使つてきた心、長じて一社会人あるいは一家庭人となつて母親に接したときに出でてくる心、年老いていく母親に対して使つていく心、どんな時もあなたの母さんはその肉を通して、あなたの心にある怒り、恨み、呪い、妬み^{ねたみ}、恐怖、寂しさ、悔しさ等々、様々な思いを引き出してくれているのです。それがお母さんという存在です。それは、あなたを生み育ててくれた肉のお母さんという存在をはるかに超えたもの、本当のお母さん、意識のお母さんという存在です。そして、その作業を重ねることによって、あなたを生んでくれた母親の思いというものに、あなたは触れていきます。

「お母さん、ありがとうございます。お母さん、私を生んでくださって本当にありがとうございます」という「ざいます」この思いが、あなたの心からふつふつと沸き起こつてくるのです。それが本当の人間の心だからです。それが本当のあなた自身だからです。

心を見るということは、あなたのの中にたくさんの思いに気付くということです。あなたの周りに存在する人達、あなたの周りで起こる出来事、それらによつてあなたの 中にある思いが引き出されていきます。その思いこそが、あなた自身であるのです。あなたの心の中にあるから、その思いが引き出されてくるのです。すなわち母親を通して、また人と出会うことにより、そして様々な出来事に出会うことにより、実はあなたはあなた自身と出会つて いるのです。そういうことが心を見る作業を通して、自分の心で分かつてきます。

相手を嫌い、蹴落けおとし、憎む前に、あなたはあなたの心を見ていかなければ自分自身のエネルギーに翻弄ほんろうされます。エネルギーに翻弄ほんろうされて、自分が全く見えない状態に自らを落としていく結果となつて いきます。本当の自分を

知らないから、そんな自分を自分だと思つてしまふのです。自分が許せなくなつたり、自分で自分が抑え切れなくなつて、どこかにそれをぶつけていつてしまつたり、肉はさらに混乱していきます。

しかし、あなたが心を見るということの大切さを知つていたなら、その荒れ狂うエネルギーの中においても、自分を取り戻していけるのです。やがて、あなたの中には限りない喜びと温もりが存在していることを、あなた自身が知つていきます。生んでもらつたこと、生まれてこれたことをただ喜ぶあなたに、あなたは出会つていけるのです。その過程を歩むことが本当の人生を生きるということだと、私は知つてほしいのです。

あなたは本当に人生を生きておられますか。あなたはなぜ生まれてきたのでしょうか。

不平不満、愚痴ぐちを並べ、泣き笑いの人生は本当の人生ではありません。人生、生きていれば色々ある、喜びも苦しみもあって、それが人生だと思われていま

せんか。そうではありません。人生は喜びです。たとえ、あなたやあなたの家族が重い病を得られても、不慮の事故に遭われても、また生まれながらにして障害を持たれていても、それらはみんな喜びなのです。しかし形を見れば厳しく、喜びとしてはなかなか受け取れないでしょう。何が喜びなものか、私ほど不幸せな人間はいないと、社会を、環境を恨み、嘆きの時を過ごしていかれるのが常でしょう。肉を本物として物事を見れば、そういういた現象は真つ暗なものにしか映りません。実はその現象を通して、あなたの心の世界が映し出されているのですが、あなたの心は現象にばかりとらわれていきます。自分の心を見る習慣のない方は、心が外に、自分の外に向いていきます。だから、この苦しみから救つてほしい、何とかしてほしい、この苦しみさえなくなれば私は幸せになれると思つているのです。自分を苦しめているのは重い病であり、不慮の事故であり、その他諸々の自分の肉にとつて不都合な出来事だと思うのです。そして自分の肉を、あるいは肉の心を救つてもらおうと、他力のエネルギーを求めていきます。それが他力信仰です。救つてください、助けてください

い、何とかしてください、その思いを出せば出すほど、苦しみの中に自ら埋没していってることが分からぬのです。

私達は苦しむために生まれてきたのではありません。それらの現象はあなたを苦しめるものではなく、あなたがあなた自身に送っているメッセージなのです。間違っていますよ、気付いてくださいと、あなたの心の中からのメッセージが、そのような形で出てきているだけなのです。だから形を見れば厳しいかもしれません、そこから流れてくる波動は喜びなのです。その現象を通して、心を中心に向けることと波動の世界を感じていくことを、あなた自身は学んでいくのです。

本当のあなたとは何ですか。

本当のあなたはその肉ではなく意識であると伝えました。本当のあなた自身に出会うために、あなたは肉というものをお母さんからもらつて生まれてくるのです。

本当のあなたは溢れるほど^{あふ}の優しさと、尽きることのない温もりの中に存在する喜びのエネルギーです。本当のあなたは永遠に存在します。あなたは外にパワーを求めなくとも、あなた自身がパワー、あなたは真なるパワーの持ち主なのです。しかし、この本当の自分自身を知っていくことは簡単なことではありません。なぜならば、あなたの心の中には、自分は肉であるというところから作り出してきた様々な暗くて重いエネルギーが、たくさん詰め込まれているからです。あなたが過去より作ってきた、その真っ黒なあなた自身と出会っていくことから、本当の自分自身と出会う旅が始まるのです。それには心を見るということをおいて他にないということなのです。

「あなたの人生の目的は何ですか」と、私があなたにお聞きすれば、あなたはどうにお答えになられますか。

何を成すために、あなたは今そこに存在しているのでしょうか。
お金を稼いだり、有名になるのが人生の目的でもなければ、人生の成功者に

なるためでもありません。先ほども申しましたように、過去よりあなたが作ってきた真っ黒なあなた自身と出会うために、人生という肉の時間があるのであります。そのためにあなたは会社を興していくかもしれません。坂道を転ぶように転落の人生を歩むかもしれません。それは、みんなそれが決めてきたシリオであつて、この世に名を残したから立派、社会から脱落したからどうとかではありません。

いかに間違つてきた自分に気付いていけるか、苦しみのふちに沈んでいるたくさん自分の自分自身に真実を告げることができるか、というのが人生の目的です。そして本当の人生を生きるということが心で分かつていけば、人生すべてが喜びであることが分かつてきます。どんな状況にあろうとも、肉を持つて眞実に触れることができたならば、苦しみがみんなたちまちのうちに喜びへと変わつていき、人間本来の生き方、死に方が心で分かつてくるからです。

ここまで読み進められてどうでしょうか。

今まで私がいくつかあなたに問い合わせをしてきた事柄について、今どのよう
な感想を持たれていますか。私がお伝えしていることは、あなたが今までよし
としてこられたものとは全くあいはん相反するものであり、そして異質なものだと思いま
す。あなたも肯定しているこの世の常識を、私は否定していることになります。
しかし疑いながらも、反発を覚えながらも、あなたを引き付けるものがこ
こにあるのではないでしようか。それは不思議でも何でもありません。あなた
の中にいるたくさんあなたは、みんな本当のことを知りたいと思つているか
らです。そのことを私は知っています。だから、あなたが今全面的に受け入れ
てくださいなくとも、私はいつの日にか、あなたの心で分かつてくださると信
じられるのです。信じて待つていればいいことであり、そうすることが私の喜
びなのです。

さて、話を元に戻しましょう。

人類の大きな間違いは宗教というものを生み出したことです。肉の自分達の

幸せと繁栄のために、神、仏に祈る、縋る、摩訶不思議な力を求める、その思
い、そのエネルギーは、破壊のエネルギーです。その実態を知らずにどんどん
どんどん増幅していったのが、今現在の私達人類です。それは地球各地で起
こつている戦争、テロにその姿が如実に示されています。聖戦とは名ばかり、
どうして人と人が憎み合い、殺し合うのか、神の名のもとに闘いの真っ黒な
エネルギーを垂れ流していることに、彼らは気付けないのです。

もちろん彼らだけではありません。眞実を知らない人間は、己の欲とエゴと
無知をむき出しにしているのです。表面は慈悲と愛の綺麗な言葉で飾り、敬虔
な態度を示し、正義を唱えても、そこから流れるものはすべてを破壊していく
エネルギー、真っ黒なヘドロのような悪臭漂うエネルギーなのです。もちろん
エネルギーだから仕事をしていきます。それがあちらこちらで勃発する闘いで
あり、その他、気象にも作用します。そして、この地球上で起こる様々な事件、
事故も、すべてその表れなのです。

人を救いゆくことが、心優しき慈愛に満ち溢れた行為でしようか。困った人に救いの手を差し伸べることが、本当の優しさでしようか。そういう行為をするのが間違いだと言っているのではなく、その行為をするときの自分自身の心を見てくださいと、私は言っているのです。

心を見ていけば分かります。どんなエネルギーがそこに働いているのか、どんなエネルギーと繋がっているのか、救ってください、救ってあげましょうと思ひを広げていくことは、真実を知らないがゆえの愚かさです。誰も何もあなたを救うことなどできません。あなたはあなた自身で救っていくのです。あなたは愛だからです。愛は優しさです。愛は温もりです。みんなその心に愛をいっぱい持っているのです。その愛を知らずに存在してきただけのことです。

愛に目覚めゆくことが、あなた自身に目覚めゆくことです。愛はあなたの外にはありません。優しさも、温もりも、安らぎも、あなたの外にはないのです。人に優しさや温もり、安らぎを求めていけば裏切られるのは必至です。肉にはないからです。何度も何度も数え切れないほどの失敗を繰り返してきたこと

が、あなたの心の歴史を紐解けば分かります。肉に愛を求め、肉に喜びと幸せを求める、絶望のふちに沈んでいったたくさんの過去を、どの方も持っているのです。

それは神も同じです。過去に間違った神を求め、自分の思いを果たせなかつた、自分の思いを聞き入れられなかつた恨みつらみが、あなたの心の中には息づいています。

そして神とは崇め奉るもの、神とは恐れ多いもの、神とは人間をはるかに超越した存在である、その思いを今もあなたの心は引きずつたままなのです。だから、あなたは今現在幸せではないのです。「いえ、私は幸せです」「私の人生は幸せな人生です」とおっしゃるかもしれません。しかし、あなたは本当の幸せと喜びを知りません。あなたが幸せだ、喜びだと感じているものは、吹けば飛ぶような薄っぺらなものでしかありません。そして、その幸せも喜びも、あなたがその肉を離すと同時に消滅してしまうものなのです。なぜならば、それらはみんな肉にまつわる幸せと喜びだからです。

私があなたに本当に知つていいてもらいたいのは、あなたがその肉を離した後も、ずっと消えない幸せと喜びです。では、そういうことは可能なのかと言えば、可能なのです。だから私は本当のことを知つてくださいと、私の生涯を懸けて伝えてきたのです。

あなたの心の中で、私達の思いを聞いてください、私達を助けてください、救つてくださいと、たくさんあなたのあなた自身が生きています。それが病気とか、色々な出来事を通して表面化してくるのです。その時肉のあなたが、自分が生まれてきた意味も、目的も、自分という存在も知らなければ、外へ外へとそれらの現象を解決する方法のみを求めていきます。もちろん病気になれば医療の手助けを受けて、肉の身体を治していくことは必要なことでしょう。その他、事態の改善に向けて肉を動かしていくことも必要かもしれません。しかし身体を治すとか、事をうまく収めるとかが最終目的ではありません。そういうことから自分の心を見て、自分の出してきた思いを確認していくこと、そこから自

分の間違いに気付いていくこと、そして、そんな自分自身を心で受け入れていくことが大切なのです。病気を治すため、事態をよくするために心を見ていくのではなく、心を見ることが目的なのです。のために、あなたは病気というチャンスを自分に与えたり、その他、色々な不都合に出会っていくのです。すべては、あなたが自分で書いてきたシナリオの中のひとつに過ぎません。自分が自分に与えた課題なのです。しかし肉の自分を本物とする生き方の中では決してそうは思えません。今、悩み苦しんでいることの解決方法ばかりを探すのです。それを解決する方法はただひとつ、それは自分の心を見るということです。

すなわち心を見ていかない限り、根本的に解決しないということですが、それが分からぬのです。

あなたの肉にとつて不都合なこともみんなすべてよし、あなたにとつてマイナスと思われることもみんなプラス、この図式が分かりますか。

マイナスは、いわゆる真実を知らないまま苦しんできたあなたです。今、ひとつこの現象を通して、やっとマイナスのあなたが顔を出し、語り始めているのです。人を通して、出来事を通し、様々な苦しみをあなたにぶつけてくるのです。あなたはその中できっと右往左往することでしょう。表面上の事柄にとらわれて、その解決策に四苦八苦するかもしれません。肉のあなたはそうかもしれません。でも、そんな時ふと、あなたの心を覗いてみてください。そして、その現象を思うのです。すなわち、ひとつの現象を形としてとらえるのではなく、波動として感じていくのです。きっと、あなたはそこから何かに気付いていかれることでしょう。目の前の出来事は大変な状態であっても、そこから感じられるものは限りない優しさではないでしょうか。

マイナスを得ることによって、あなたがそういうことに気付いていったならば、それらはみんなプラスに変わっていくということです。すなわちマイナスを得たことにより、今まで見えなかつた世界が見えてくるのです。そうなれば最初はマイナスだと思っていたものが実はプラスであった、私には必要なこと

であつたのだと、あなたの心で段々と分かつてくるはずです。

私はマイナスを克服しなさいと言つてはいません。世間ではよく「病氣と闘う」とか「病氣に負けないで」とか言われていますが、その心はとても冷たい心です。己を全く知らない無知な人間だから、そういうことをやり続けているのです。病氣とは闘うものでなく、受け入れていくものです。病を得たとき、あなたの肉体細胞に心を向けてみてください。あなたの肉体細胞からは、あなたを苦しめる思いは流れていません。あなたに間違いに気付いてほしい、あなたに優しい思いを流してほしい、肉体細胞はあなたにただそのことを告げているのです。

それは肉体細胞に限りません。人間以外の生きとし生けるものすべてから流れている波動は、優しさと温もりです。それは、それらがみんな眞実を知つているからです。愛の中に生かされていることを知つてはいるからです。人間だけが厳しくて、暗くて、冷たい波動を、この宇宙に流し続けてきました。だから、これから人類は未曾有の体験をして、自分達の間違いに気付いていくといふこ

とです。

さて冒頭に、私はあるひとつの仕事をするために生まれてきたとあります。そうです、私はあなた方が自分達の間違いに気付かれ、真実に目覚めにかかるために、今世こうして日本人というひとつの肉をもらつて生まれてきました。その中で私自身も色々と学ばせてもらい、そして自分の心を見るということを通して、自分の心で分かつてきただことがあったのです。私は、このことは決して片手間ではできないことであり、私のすべてを懸けてお伝えしたいと心から思いました。

今までたくさんの人達が、私の話を耳にしてくれました。心で感じ、心で証明してくれる方も出てまいりました。本当に嬉しい限りです。私は、そんな一人にはあなたもなつてもらえればと思うだけです。

皆さんにはたくさんの過去世、すなわち過去、転生を繰り返してきたたくさんの中の歴史がその心の中に刻まれていますが、私は今世初めて肉を持たせてもら

いました。それは私が皆さんとは別格のものであるとか、私は大きな使命を持つっていますとか、そういうことではありません。私自身も人生半ばまでは実際に疎く、それゆえ様々な悩み、苦しみの連続でした。私自身の肉の一生をここでお話しすることは省略させていただきますが、決して私は特別な人間ではないことだけは知つておいてください。

過去、聖人君子と呼ばれ、悟つたとされてきた方々は少なくありません。その方々は確かに真実を見極めようと修行を重ね、一応はそのような評価を得てきました。でも、その方達もまた真実とは何か、自分の本質とは何かを知らずに、肉を持ち、肉を捨てていつただけのことでした。その証拠に、いまだその方達は真つ暗な世界に沈み込んだままなのです。また、その方を師と仰ぎ、神と崇めてきた信者達も、同じ世界にともに落ちて いる、これが意識の世界の現実です。悟つたとされる方が、どうして苦しい世界の住人となつて いるのでしょうか。このことが嘘か本当かは、あなたの心で分かつてください、あなたの心で分かることですよと、私は繰り返し繰り返しお話ししてまいりました。

真実を知らない世界は、真つ黒な真つ暗な闇の世界です。もがき、喘ぎ、苦しみ、のた打ち回り、そして、やがて身動きさえできない重苦しい闇の奥底に沈み込んでいくのです。肉を本物とする人間達が、やがて自分の死を迎える、その肉体を捨てていったとき、帰つていくところはそんな世界です。

死んで地獄へ行くではありません。今、あなたは地獄の住人なのです。ただ肉を持っているから、肉で覆われているから分からぬいだけで、その肉を離せばあなたの心の世界、意識の世界はもろにあなたを覆い尽くしていきます。すなわち、あなたが真実の世界を知らなければ、肉を持つていても持つていなくても、生きていても死んでいても、地獄の中にあるということです。

何度も死んでは生まれ、生まれてはまた死んでいく、その繰り返しの中で真実に目覚めるどころか、生まれてくるたびに心に重い荷物を背負い込んで死んでいったのが、私達人間でした。肉を持ってば肉の世界のことに心を紛らわせていくことができます。そして酔生夢死の中で蝶よ花よと夢うつつのうちに、肉

の時間はあつという間に過ぎ去っていくのが、ほとんどの方の人生ではないでしょうか。

しかし、そんなものは本当の人生ではありません。たとえば、あなたが人生を真面目に考え、一生懸命生きて、これこそ我が人生なりと満足の境地であつたとしても、今現在、心のどこかに何か割り切れない、何かもやもやしたものはありませんか。なぜ生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、死ねばどこへ行くのか、決してあなたの心で解き明かせない疑問があるのでないでしょうか。

また人は誰しも一度や二度、自分の人生を振り返る時が必ず訪れます。それは自分の中からの気付き、促^{うなが}しの時です。もつとも気付きたか、促^{うなが}したかに気付かない人がほとんどです。自分の中が苦しいと訴えている、叫んでいるのに、ほとんどの人がその声に耳を貸さない冷たい心に成り果ててしまつたのです。しかし自分は冷たい人間だと思つていない、自分は一生懸命、真面目に生きていると思つていいから、本当に人間は愚かとしか言いようがありません。

一度きりの人生だから、我が人生を大いに楽しめます。世のため、人のため、家族のため、そして会社のために骨身を削り、日夜努力しています。もう、こんな人生やめにしませんか。自分の人生は自分のために生きるのです。それが本当の人生です。自分のために生きるというのは、先ほどもありましたように、自分の中に生きているたくさんの自分と出会っていくということです。中の意識達は、みんな助けを、救いを求めています。それはとりもなおさず地獄に沈み込んできた、たくさんあなたに他ならないのです。その自分を救つていくことが、あなたが肉を持つて、この世に生まれて、あなたが成していく唯一の仕事なのです。会社を興^{おこ}し会社を育てること、あるいは家族のために企業戦士となつて働くこと、素晴らしい作品を残しここに我ありと名を残すことが、あなたの仕事ではありません。それらを通して自分の心を見ていくのです。みんな人生の目的^{むの}が分からず、目先のことに心を奪われ、せつかくもらつた肉の時間を無^{むい}為に過ぎ^{すが}しているのが現実です。

我が人生に悔いなし、本当にそうでしょうか。では、あなたの人生とは一体何なのでしょうか。あなたが死ぬその瞬間までが、あなたの人生なのでしょうか。

こういうことに、はつきりと答えてくれたものに、今まであなたは出会われましたか。確かに今の世の中、情報は豊富で處世術の類の書物は氾濫はんらんしていきます。また生きていくコツ、處世術はそれなりに人生経験を重ねて、いけば身に付きます。その道を極めた人のお話は参考にもなり、ときには深い感銘かんめいを受けられて、いい刺激を与えてくれると思われているかもしれません。しかし、それらはみんなある程度までで、それから先はありません。そこから眞実に出会うということは決してありません。結局はみんな何も分からぬまま、この世といいう濁流だくりゅうの中で浮き沈みしながら日々を過ごし、時が来ればその肉体を離していくだけのことです。そして、あなたを待っているのは、寂しくて、苦しくて、冷たい真っ暗な世界です。肉を自分だと思つてゐる意識は真っ逆様まっさかさまに落ちてい

きます。奈落^{ならく}の底に沈み込んでいきます。実は肉を持っている時も、その世界に住んでいるのだけれども、肉というクツционで心を紛らわせているだけのことであり、その肉を外していったとき、すなわち肉がない状態になれば、その世界がもろに、そして鮮明に現れてくるということなのです。

誰一人例外もなく、死ねば自分一人の世界です。あなたの世界にはあなたしか存在しません。どんなに苦しくても、どんなに寂しくても、誰も何も答えてくれない、ただあなたがそこにあるだけなのです。その時、あなたはどうするのですか。この世のことなら色々な方法をもとに、それなりの結果が得られるかもしれません。しかし何もない、ただあなたの心があるだけで、しかもその世界は真つ暗な世界です。それがあなたの心を覆^{おお}い尽くしていくのです。この世でどんなに頭脳明晰^{すのうめいせき}を誇った人も、何も分からぬ無知なまま、地獄の奥底に沈み込んでいくだけです。

だから私は、あなたが肉を持つていてる間に、心を見るということを通して、地獄に落ちていてるたくさんの自分と対面してくださいと言つていてるのです。そ

して心だけになつた自分自身に対して、本当のことを伝えられるあなたに蘇つてくださいと申し上げています。人に恵みを施したり、人の面倒を必要以上に見ていく余裕など、どこにも残されません。自分の実態が心で分かつたなら、あなたは必死で自分の心と向かい合うことでしょう。限られた肉の時間の中で、そうすることが最大の優しさだと分かつてくるからです。そして、それは自分自身に対してだけ優しいのではなく、その優しさはあなたの周りにも波動となつて流れていきます。その優しさはパワー、真のパワーだから本当の意味で人を癒していくのです。

癒しの音楽、癒しの香り、昨今は癒しのブームであります。本当の癒しとはあなた自身のその心の中にあることを知つてください。

自分を癒していくのは、あなたの心の中の優しさと温もりです。あなたの心は誰も救えません。祈つて、祭つて、救われるものならば、地球人類はもうはるか昔に救われています。

いまだに闘たたかいの日々を費やしている愚かな人類です。真実が分からなくなつ

てしまつた人類は狂つています。その狂つたエネルギーが、この地球上で色々な形となつて現れてきているのです。もう、そのエネルギーは地球全土を覆い尽くす勢いです。

これから人類は大変な時を迎えます。肉がすべてだと生きてきた人類にとつては、見るも無残な体験をしていきます。もう成す術もないほどの打撃をこの地球は受けていくことになるでしょう。みんな愚かな人類が自らに矢を射り、弓を引いてきた結果なのです。私はそのことを伝えにやつてきたのです。

私は正しい、私は間違つていない、私は立派、そうやつて生き続けてきた人類こそが一番愚か者であつたと気付いていく道筋を、肉を持った人間はこれから歩いていきます。自ら蘇るチャンスを与えていきます。なぜならば私達は愛だからです。その愛が天変地異を起こしていくのです。

その中で、人類の心が宗教というものを離していくまで、決して人類は幸せになりません。自分達は初めから幸せであつたと分かるには、心の中に宿る神々を手放していかなければなりません。自分の外に作った神々には、あなた

を救う力などありません。支配と破壊はかいのエネルギーを撒まき散らして、ますます混乱の中へ突き落としていくブラックパワーに他ならないからです。そのブラックパワーと手を組み、己の欲望を膨らませ続けてきたのが、これまでの人類の姿でした。もちろん今もそうです。眞実を知らない一人ひとりが宇宙に垂たれ流しているエネルギーは膨大です。しかし、そのことに気付いていく、気付いていけるこれからなのです。

自分が出してきたものは必ず自分に戻もどります。これが宇宙の法です。

私達人間社会には一定のルールが存在してきました。やがて生命と財産を守るための法律が成立し、互いに互いを縛しばり合いながら秩序は保たれています。それは時代により、国により異なり、決して不变のものではありません。

宇宙の法というものは、私達が言つて いる法とか秩序とかいう範疇はんちゅうのものではないことは、分かつてもらえますでしようか。それは、どんなに時が巡つても決して変わることのないもの、そして私達はその法の中でしか生きられないのです。それは、法とは私達自身だからです。法にずれた思いは、自分自身に

苦しみという形で返ってきます。

人生の苦しみは自らに与えていく喜びです。その苦しみを喜びとして受け取れる心、その心を養い育んでいくのが、あなたの人生なのです。苦しみを乗り越えるのではなく、苦しみとともに生きていけるその優しさと温もりが、あなたの中には溢れるほどあるということに気付かせてくれるのが、苦しみなのです。

尽きることのない優しさと温もりの中にあなたは包まれています。そんなあなたが本当のあなた、その本当のあなたと出会うことが人生の目的です。

今まで肉を自分だと思い、肉の自分の幸せと喜びを最優先してきた生き方というものが、どれだけ無知な生き方か、どれだけずれた生き方か、段々と分かつてこられたでしょうか。

しかし、どの生き方を選んでいくかということは、どこまでもあなたの自由です。そして、その結果もあなたのものですよと私はお伝えしています。自分が選んできた結果だけを見て、つらいとか、苦しいとか、悲しいとかを

訴えて、その原因となるものが自分の心にあることを横に置いておいて、人を責め、社会を呪つていくことが、どれだけ愚かであるか分かりますか。みんな様々な理由をつけて責任転嫁せきにんてんかしていくのです。誰も自分の責任を取れない、それは本当のことを知らない無知な人間だからです。だからと言って、私は決してあなたに強制する思いはないのです。私の言うことを聞きなさいと上から物申しているとか、諭さとしているとかは一切ありません。

私はあなたの心で分かってくださいと、お伝えしているだけです。眞実はこうですよ、これが本当のことですよと、私は皆さんのに提示してきました。それを受けしていくのは、すべてあなたの心次第なのです。この私の思いというものは一貫して変わりません。

そこで私は、あなた方のこの地球上での転生の時間を、一応、三億六千年と伝えてきました。数字のことは別として、それだけの長い間、肉の自分を自分だと思つて存在し続けてこられたあなた方に、今世の僅わずかな年数で、私のお伝

えすることを心で理解することは、甚だ困難なことだということも承知していました。だから私は何度も何度も繰り返し、毎回のセミナーで同じことを伝えてきました。もちろん私がこのような話を始めてから、私の周りにはいわゆる靈能者、チャネラーと呼ばれる方がたくさん出てこられました。その方々はチャネリングということを通して、どんどんどんどん意識の世界のことを語り始めました。それはセミナーが流れていく中での一過程でした。だから、そういうことを通して、意識の世界に触れていくという初期の目的は達成されたのです。そして、みんながセミナーとともに成長していくことが本筋でした。しかし、なかなかそうは行きませんでした。心を見るということが学びの中心課題であるにもかかわらず、チャネリングそのものが主体となつていったからです。チャネリングをするほうも受ける側も、ただ心を見るためにそういうことがなされているということが、いつの間にかぼやけてしまって、チャネリングをつかみ、チャネラーをつかみ、実際は学びの本筋から大きくずれていった方が多かったです。そこに流れるものは、まさに教祖と信者のエネルギーでし

た。己一番と底なしの欲のエネルギーが渦巻いている中に、ともに落ちていったのです。いまだ、そこから抜け出せない方もいれば、自分の心を見て間違いに気付いていかれる方もありました。

様々な局面を迎えて開かせてもらつたセミナーは、喜びのセミナーでした。私がお伝えすべきことは、すべてお伝えしてきました。後はそれを耳にした人が、実践を通して自分の心で分かっていくだけのことです。

すべての方の心に真実があり、その真実そのものがあなた自身であることを私はお伝えしてきました。そして、この学びは今世から二五〇年後へと繋がつていくものなのです。今世だけで完結ではありません。だから、この本を手に取つたあなたが、たとえセミナーに集つていなくても、あなたの心に何かが響き、あなた自身の二五〇年後に繋いつなでもらえれば、それでいいのです。私はそのことを信じ、喜びで待ち続けています。

話を元に戻しましょう。ここで言うチャネラーでさえそんな状況でしたか

ら、^{ちまた}巷の靈能者、チャネラーと言わわれている方々は推して知るべしだということです。その方々は自分自身がどんなエネルギーと通じ合っているのか、全く知らない状態です。それにもかかわらず、その靈能現象を通して己を表しているだけのこと、いなくなれば、そのチャネラー自身も操られているに過ぎない、全く無知であるということです。

救つてください、救つてあげましょ、教えてください、教えてあげましょ、^{たた}これは全く間違っているのです。救いの手を差し伸べる、教えを垂れる、何か救世主のようであつて素晴らしいことのように映りますが、それは形から推し量つていてるからです。すべては波動の世界です。言葉や態度ではあります。どんなエネルギーと通じているかです。物事を言い当てるとか、不思議なパワーを感じるとか、オーラがあるとか、それらはみんなブラックの世界と通じています。だから、そういうところに心を向けていかれた方は、結局は哀れな末路を辿つていかれるのです。一時いい兆しが現れたかのように見えて、それはほんの一時です。そういうことが分からなくなつてしまつたのは、肉基

準の思いが根本にしつかりとあるからなのです。

何度も言います。眞実はあなたの心で分かることなのです。あなたの外に眞実はありません。あなたの外に救いを求めて、あなたは救われないので。救われると思うそのあなたの心を見て、いつてください。宗教では人は救えません。それは今の世の中を見渡せば、一目瞭然です。どうして今もなおこの地球の至るところで闘いたたかが繰り広げられているのでしょうか。人類の幸せと繁栄どちらか、宗教を求めるエネルギーはすべてのものを破壊はかいし尽くしていきます。人類が祈れば祈るほど、祭れば祭るほどにブラックのエネルギーを垂れ流していることを、やがて起こりくる宇宙的規模の天変地異が、人類の目の前に示してくれることでしよう。

ここで「死」ということに触れてみましょう。

あなたは自分の死をどのように受け止めておられますか。眞つ直ぐに真正面から死と向き合えますか。死というものを忌み嫌い、自分の死を見つめていけ

ない心があるのでないでしょうか。まだ若いからそんなこと考えたことがないと言われる方も、死は突然にやつてくるということが考えられませんか。また若いから死にたくないのではなく、年齢を重ねていてもその肉にしがみついている方はたくさんおられます。そして健やかに長寿であれば幸せだと思つて死ぬまで元気で、死ぬ時はコロリと逝^すきたいと、みんな願つています。

みんな、その肉だけが自分だと思って生きてこられた結果、その肉を離すことに恐怖の思いをしつかりと持つています。過去に何度も味わつてきた恐怖が、あなたの心に記憶されているからです。だから若いちはもちろんのこと、年齢を重ねても死と真向かいになれないのです。

ありがとう、心からその思いで自分の肉体細胞を思い、慈^{いつく}しみながら、その肉を離していく人は一体どれくらいいらつしやるでしょうか。

ただ肉の命を永らえるために薬漬けの日々、それでもいつかは必ずやつくる死です。心に不安と恐怖の思いを抱え、最後に縋^{すが}るのは神、仏でしょうか。そんなことは空しい、哀れなことだと思いませんか。それよりもしつかりと

自分の歩いてきた人生を振り返る時間の中で、真実を知つていかれ、本当にありがとうございましたと、その肉を離していくことができたなら、どれほど幸せなことかと思われませんか。

あなたが生まれてきたのは偶然でもなく、必要があつたからその今の肉をもらつてきたのです。あなた自身が望んだ環境、その他すべてを選んで今のあなたがそこにいるのです。真実を知らずに、また、あなたは今世もその肉の人生を閉じていくのでしょうか。

あなたがこの本を手に取られたということは、大きなチャンスだと私は思っています。私がお伝えしてきたことは終始一貫しております。変わりません。私がお話ししてきたことは、たくさんの資料として残されていますが、今この一冊の本に私自身の思いを書き記すことができ、私は喜びです。色々と説明を加えながら、伝えたいことをこのように文字にしていますが、私の本当に伝えたいことは、この本から流れる波動です。あなたにはその波動が感じられ

ますか。私の喜びの思いがあなたの心に届いていますでしょうか。ただの文字の羅列^{られつ}ではなく、どうぞ、あなたの心で感じていってください。

生きとし生けるものすべてから波動が流れています。その波動の世界を心で感じていくことこそが、眞実を知つていくことなのです。波動の世界こそが眞実を物語ります。波動の世界の中にしか眞実はありません。肉を持つ人間の心中には、すさまじいエネルギーが蓄積^{ちくせき}されてきました。肉を本物とするエネルギーは、すべてを破壊^{はかい}し、支配するエネルギー、ブラックのエネルギーです。私は優しい、私は立派、そんな人は一人もおりません。本当の優しさが分からなくなつた、本当の幸せも喜びも見えなくなつた、無知とエゴと欲の渦巻くエネルギーの中で、何も分からなくなつてしまつたのが肉の人間の姿です。

万物の靈長どころか、もつとも最低最悪、悪臭を撒^まき散らしているのが人類だと言つても言い過ぎではありません。

しかし、また一方で本当に堕落^{だらく}の一途^{いと}を辿^{たど}つてきた人類の歴史の中で、よう

やくその間違いに気付いていく計らいの中に、自らを誘つているのが人類なのです。もちろん、その道は険しいです。これからその気付きの時を何度も何度も体験していきます。

もう、この流れは変えることはできません。止めることもできません。その流れは、宇宙の法の中に存在する意識達の喜びが、どんどん気付きを、促しを与えていくという流れです。私達人類の頭脳をいくら集積しようとも、この流れは厳然として流れているのです。流れに逆らえれば逆らうほど、それは正確に自分達に返ってきます。そして人類は自分達の愚かさというか、肉の世界の小ささに気付いていくようになつていています。

私達は二五〇年後に出会うということを書いてきましたが、そうです、確かにその出会いはあるでしょう。今よりも、もつと地球環境は変貌を遂げていますが、その中で私達の出会いは用意されています。それが意識の流れであり、私もあるたもその流れの中に存在しているからなのです。

これから二五〇年かけて、すべては喜びの世界であり私達は喜びの存在でし

たと、心で分かられる方から流れる波動は、この地球に留まることなく全宇宙に流れていきます。その波動、そのエネルギーは、肉を持つ、肉を持たないにかかわらず、大いなる目覚めを促^{うなが}していきます。

その中で私とあなたとの出会いがあるというわけです。

あなたは、その心の中に数限りないあなた自身を抱えています。みんな真実を知らなかつたために苦しんで苦しんできた意識です。今もなお、あなたの心の中に生き続^{つづ}けている意識達の存在を、心を見るという作業を通してあなた自身が知つていく時間が、これから二五〇年です。

その間に、あなたは一体何度転生の機会を持たれるでしようか。生まれてすぐ^{はか}に天変地異に遭われて、その命を捨てる時もあるでしよう。肉が生き永らえることにより、苦難の道を歩まれることもあるでしよう。そういうことを経て、あなた自身が眞実に出会うための計らいを自分自身に与えていきます。たとえば、この本をする、本を開く、読み進めるという行為も、その一端で

す。

私はこの本を通して、今、あなたの中の意識達に呼びかけています。どうぞ眞実に目覚めてくださいと、あなたは愛の中に生かされている愛そのものですよと、私の思いはきっとあなたの心の奥深くに届いていくことでしょう。私はそれを信じて待ち続けています。

私は今、日本人として肉を持つています。しかし私の本当の姿は意識、波動なのです。それはあなたも同様です。

私は今、肉の私としてではなく、意識、波動の私が、あなたの心の中でこのように呼びかけています。そうです、その私とは本当のあなた自身です。本当のあなたが、肉が自分だと思つているあなたに呼びかけているということです。

肉の世界では、私の肉とあなたの肉は別個のものであるし、互いに今現在どんな肉であるのかも知りません。しかし意識の私達はひとつなのです。私とあ

なたの区別も、境目もありません。私は今、肉を持ちながらそのことをよく知っています。一方、あなたは肉の自分だけを自分だと思ってこられた、自分と自分以外をしつかりと認識してこられたのです。だから私の呼びかけにすぐにあるあなたが反応するとは思いませんが、静かに自分の思いの世界、心の世界を辿つていけば、きっと私の存在というものが感じられることでしょう。

本来は私とあなたはひとつ的世界にありました。しかし、あなたは肉が自分だと思った瞬間から、私を心から離していきました。あなたが私から離れていったのです。

あなたは本当の自分を捨てて、偽物の自分をずっと心に握り締めて存在し続けてこられたのです。今ようやく、それが間違いですよという気付きのチャンスを自らに与えているのです。本来の自分に戻つていこう、帰りたいと切実に願つてこられた思いが、あなたに今世の肉を持たせました。そして、ある方々はセミナーに集われ、またある方々はこの一冊の本との出会いにより、真実を知るチャンスを自ら作ってきたということです。

すべてはあなたの中からの促しです。それを信じていこうとするのもあなたなら、こんなものと捨て去つていくのも、またあなたです。これが本当のことであるのかどうなのか、人に聞いても分かりません。ただひとつ分かる方法は、あなたが自分の心を見ていく作業を進めていくことです。なぜならば、あなたはその心の奥底に真実を知つていています。その作業の中で、何かあなたの中にコツンと突き当たるもの、手ごたえがあるはずです。しかし、それでもまだはつきりと分からぬかもしれません。分からぬながらも、あなたはここに書かれているどこかの文章、言葉が、あなたの心に引っかかるというか残つていくと思います。そしていつの日にか、またそこへ戻つてくることだろうと私は思います。それでいいのです。その時、あなたの心が何かを感じ、そして、それからどんどん心で分かつてくると思つています。

要するに真実はあなたの心でしか分からぬ、そして、あなたの心で必ず分かる、これが私の一貫した思いです。

だから私は来るものは拒まず、去るものは追わぬということをやつてしまし

た。というのも真実をお伝えすることが私の喜びであり、それ以外の思いは全くないからです。肉の私はどこにでもいる平凡な日本人です。肉はそれでいいのです。肉の私には何の力もありません。だから私があなたにパワーを授けるとか、あなたを苦境から救い出すとか、もし、あなたがそういうことを期待されているのならば、^{あいはん}私とあなたには接点がありません。あなたの欲の思いと私の思いは全く相反するもの、全く合わないものなのです。

私がお伝えしてきたことは、確かに肉を持つ人間には難しいことだと思います。現に肉の生活があり、社会もそのように流れています。その中で肉の枠から^{いわば}自分を解き放つということは、本当に心で感じてこなければ、決して簡単なことではありません。目で見える世界のほうが実感があるから、目に見えない世界を信じることは極めて難しいということです。それでも私はこれからも伝え続けます。

宇宙の法、意識の流れは^{げんぜん}厳然としてあり、今、まさに肉から意識への転回期

にある私達です。これはすでにお伝えしている通り、これから二五〇年、三〇〇年をかけて宇宙的規模の天変地異とともに、私達が歩んでいく道筋なのです。

だから私はこうして今肉を頂いて、三次元にいるあなた方に伝えにきたとうことです。

そして、この肉から意識への転回は確かに難しいことですが、私がお伝えしてきたことを心で分かる方が絶対に出てこられるという確信は、私の中にはありました。すなわち私は意識の目覚めを待ち続けていたのです。そして予定通りにそういう方と出会わせていただいて、私は心より感謝しております。今世はそれでよかったです。一人が二五〇年後に心を繋ぐ^{つな}ということが、どれほど喜びであるのかは、これから人類はつぶさにその現実を見ていくことでしょう。

もし今世の私がこの世で言うところの肩書きがあり、有名人であつたりすれば、もつとたくさん的人が集つたかもしれません。あるいはバツクに大きなス

ポンサーがついていて、その財力で人を集め、講演会と称してこういうお話をすれば、もつとたくさんの人々に広まつていったかもしれません。しかし私には金集めも、人集めも必要がありませんでした。今世の私の目的はそうではありますでした。今世は意識の目覚めが必要だつたのです。心を二五〇年後に繋つなぐということが最重要課題でした。だから人をたくさん集め、セミナーを大きくしていくことは必要なかったのです。ただ心で分かる方の出現を、私は待ち続けてきました。そして、その目的が達成されたのですから、私はどれほど喜びであるか、本当に感謝に堪たまえません。心からありがとうございます、ありがとうございますとの思いでいっぱいです。今世の私は地位も、名誉も、財産も、取り立てて言うほどのものは何もなく、どこにでもいる普通の日本人という肉を選んできました。そして私がお伝えしたいことを心で分かつてくれる方との出会いをひたすら待ち続けながら、セミナーを開かせていただきました。今はただただ嬉しいだけです。

さて、今の世の中はと言うと、今はお金中心の世の中です。

お金さえあれば何でも買える、どこへでも行ける、おいしいものを食べることができる、何でも好きなことができる、だから私は幸せ、そんな短絡的^{たんらくてき}的な思考が決しておかしいとは思えない心の貧しい人間が、満ち溢^{あふ}っています。ですが、みんな心が貧しいとは思っていません。働く時は働き、そして遊ぶ時は遊ぶ、私は大いに人生を楽しんでいます、案外そういう方は多いことでしょう。そうすることがいいことだと思っている、そうできる自分は幸せ者だと思っています。そして教養を身につけ、豊かに暮らしている私は立派でしよう、私は幸せでしようと、一生懸命外に向かつて自分が幸せだということを主張しているのです。そう言っている自分の心を覗けば、決してそうではないことが分かるはずですが、もう心の隅々までお金というものに汚染されてしまっているから、そこから自分を解放していくことは難しくなりました。お金を稼ぐ人は偉い人、この世の成功者、世の中の流れは今どんどんどんどんその方向に流れています。お金には魔力がある、黒のものも白になる、この世はまさしく

金次第、この風潮は今後もますます強まつていくことでしょう。お金によつて人々は狂つていつたのです。だから金額の多寡にかかわらず、人を殺すことなど日常茶飯事に起こります。今やお金に対する欲の思いは天井知らずの勢いです。

そんな中に私達は今肉を持つて、肉の生活を送つてゐるということを知つていかなければなりません。

そうです、この世はまさに濁流だくりゅうなのです。しかし濁流だくりゅうを濁流だくりゅうと思つていらない人がほとんどです。それが人間の悲劇と言えばそうでしようが、心で気付いた方々から本当の人間としての喜び、幸せの道を歩いていつてほしいと私は思います。

もちろん肉を維持していくためには今の世の中、お金は必要です。色々な物、様々なサービスは貨幣かへいという一定の基準に換算されています。だから、それらを手にするためには換算されたお金と交換しなければなりません。それが人間社会が作り出した経済社会です。ただ、それだけのことです。にもかかわ

らず、お金というものに振り回されて、自分が見えなくなってしまった愚かな人間が増え続けています。無知なままに肉をもらい、肉を捨てていく人間ほど哀れなものないと、私は思っています。

何が喜びで、何が幸せか分からなくなってしまった肉の人間、すなわち肉を自分だと思つてきた意識、地獄のふちに沈み込んでしまつていての意識、その意識達が今世の時間と空間を自らに与え、真実に目覚めていこうと、その肉を持つってきたのです。特に今世セミナーに集られた方々は、その思いが非常に強いのです。この本を手に取られた方々も、ご同様だと思います。ご自身に自覚があるかないかは別として、その意識の流れの中で肉を持たれてきたということです。

私達はみんながみんなすべて間違つてきました。その間違つてきたことに出会うことにより、眞実の道が開けていくという道筋がそれぞれにあるのです。だから、あなたの今世の人生は苦しかつたはずです。その苦しみから自分自身を解き放していくと、あなた自身が強い決意のもとに肉をもらわれたこと

を、どうぞ心を見る作業を通して、あなたの心で思い出していいでください。

人生は喜びです。生まれてくるということは喜びなのです。そのことに一日も早く心で気付かれることを、私は待ち続けています。

眞実はあなたの心の中にあると、私は申してきました。あなたが本当に自分の人生を真剣に考へるなら、自分がなぜ生まれてきたのか、何のために生まれてきたのか、まず、その疑問が心に浮かび上がつてくると思います。

そして生まれて死んでいく中で、人それぞれ様々な人生模様が描かれていきます。では幸せ、不幸せとは一体何でしようか。何をもつて自分は幸せであるとか、不幸せであるとかを言つてはいるのでしょうか。

私は、心を見るということを知らない人はみんな決して幸せになれない、いえ、幸せが分からぬと思つています。その方々は自分が初めから幸せな存在であることに気付けないからです。生まれてくること、お母さんから肉をもらうということ、それがどれだけ幸せであるのか、心を見るなどを知らない人は分かるはずがありません。そして幸せが分からぬ人達が集つて、幸せにな

ろう、幸せになりたい、幸せにしてやろう、とやっているのです。甘い言葉に乗せられて欲と欲が引っ付いていきます。男と女の世界もそうでしょうし、宗教の世界もそうです。そこに渦巻く欲の世界は、ドロドロのヘドロで覆い尽くされた世界です。悪臭が、死臭が立ち込めている世界です。どんなに外見を綺麗に装つても、繕つても、その方々から流れる波動の世界が物語っています。そんな悪臭ブンブンの波動を流されている人が幸せになれるわけがありません。でも世間ではそれが通用するのです。お金があつて、教養があつて、美貌があつて、何不自由ない生活があつてとくれば、何と幸せな人だろうか、私もその人にあやかつて幸せになりたいと、欲ばけの人間が群がつてくるのです。そうやって、みんな何も分からずに渦流の渦の中に飲み込まれていきます。その中で、こうして本当のことに巡り会つたあなたには、そんな愚かな生き方の流れを、ぜひ今世こそ自分の中で変えてもらいたいと、私は思っています。渦流に流されながら実は流されていない、そんな生き方をしていってほしいと、私は思うのです。

確かに難しいです。でも、それはあなたの心の中に過去より積み重ねてきた心癖、他力の心癖が根を張っているから、あなた自身難しいと思っているだけなのです。その心癖を少しづつ弱めていったとき、ああ、私は間違ってきましたと心の底から懺悔さんけいの思いが出てきます。自分自身に申し訳ありませんでした、お母さんごめんなさいの思いが噴き出てくるのです。懺悔さんけいは喜びです。止めどもなく溢あふれてくる喜びです。どれだけ間違い続けてきても、今確かにここにこうして存在を許されていることが嬉しくて、ありがたくて、もう何も要らない、誰も必要としない、私はこの心からの思いがあればもう何も要りません、となつてきます。本当にそのような思いがふつふつと沸き出てくるのです。そのような心の体験をしていけば、あなた自身の物の見方、考え方、価値基準は全く変わることでしょう。

ところで今、他力という言葉が出てきましたが、他力とは肉を本物とするところから発せられる思いすべてを指します。通常、自力と他力という組み合わせで用いられていますが、ここで言う他力はそれとは違います。

すなわち肉の喜びと幸せ、繁栄を願い求めていく心、その心が他力の心です。今この世に存在する宗教はみんなそうでしょう。あなたに肉の喜びと幸せを与えてましょう、授けましょるとするのが、他力信仰の世界です。だから他力信仰は間違いなのです。

自分を肉だと思って、その肉を、この心を、助けてください、救ってください、何とかしてください、パワーを下さい、私に喜びと幸せを下さいと、祈り、祭り、縋すがつっていく他力信仰は暗い暗い真つ暗な世界です。

ご自身の心が敏感であるならば、その他力信仰で祭られている神々、あるいはそこで崇あがめ奉たまつられている教祖のほうに心を向けられたらいいのです。あなたの心で感じられるはずです。どんな世界が心に伝わってきますか。穏やかで、安らかで、幸せな世界ですか。絶対そんなことはありません。

あなたが自分の心を見ていつたとき、ずっとその他力の中で生き続けてきたことが分かつてくると思います。肉として生まれ、肉を自分だと思って生き続けてきた心の歴史、それはもう気の遠くなるほど、あなたの心の中に詰め込ま

れています。そしてまた、肉として死んでいった過去のあなたがごまんといます。あなたはご自分をその肉だと思つてこられたから、自分の外にパワーを、力を求めてきたのです。本当のあなたというものをあなたは知らないまま今に至っています。もし、あなた自身、その心で自分の姿を知つていったなら、もうそんなバカげたことはなきらないでしよう。自分の中に自分を救つていく真のパワーがあることを、心ではつきりと感じられるからです。私はそのことを言つているのです。あなたは、あなたが今考えておられるようなちっぽけな存在ではありませんよと、私はお伝えしているのです。

嬉しいですよ、あなたが自分の本当の姿をその心で知つていかれたなら、あなたの人生観は一八〇度変わつていくことでしょう。私はそのような方が一人また一人と出てこられることを、ただ信じて待ち続けています。

本当の喜びと幸せをその心で知つて肉の人生を終えていかれることが、どれだけ幸せなことなのか、どれだけ自分自身に優しいことなのか、あなたの心で知つていつてほしい、私の思いはそこにあります。

真実をお伝えするために、今世初めて肉を持つてきた私です。もちろん私も母のお腹なかを通って生まれてから約五十年は、間違いだらけの人生を歩いてきたのです。それから約十年、心を見るという作業を通して、試行錯誤しこうさくごを重ねながら、ようやく自分の心で感じていることが真実である、これこそが唯一の真実の世界であることに到達しました。そして、それからの約二十年間、私はセミナーを通して、自分自身もまた成長していきました。セミナーが私を育ててくれたのです。

今世ひとつめの肉をもらつてきた私です。その私の世界、波動の世界に、あなたとともに心を合わせていってください。あなたの心で真実の世界を感じていてください。私は最初からそのように皆さんにお伝えしてきました。

心を見る作業の中心柱は「母親の反省」と「他力の反省」です。他力の神々に救いを、パワーを求めてきた心そのままを、あなたは今世の母親に使ってきました。それは二つ並行して反省を進めていけば分かります。母親に使って

きた心と、他力の神々を求めてきた心は、その根っこが同じなのです。

そして肉のお母さんがどうとか、あなたが生まれてきた環境がどうとかではありません。あなたはその母親を選び、その環境を自ら設定してこの世に肉を持つてこられたのでした。全部、自分がお膳立てせんたてした道筋です。その中で眞実に目覚めるというか、本当の世界と出会っていく計画を、ご自分で立ててこられたのです。今、あなたがどんなに苦しい状況の中に肉を持つていても、それらはみんな自分で選んできたものなのです。だから誰を恨むこともいらない、誰と比較することもいらないということです。比較競争、呪いと恨みの中で存在してきたあなた自身を、あなたは本当は自由にしてやりたいと思つています。しかし、その手立てが分からなかつたということです。

どうぞ真っ直ぐに自分の心を見て、いってください。自分の心の声を、叫びを聞いて、いってください。そして苦しんでいるのが本当の自分ではなく、私は喜びであつたと気付いていけるように、様々なシナリオを自分に書いてきたのだと、ということを、その心で分かつてください。

そのことが自分の心で分かつてこない限り、今世もまたあなたの人生は失敗です。たとえ、どんなに富を築き、名声を得ようとも、あなたの人生は失敗なのです。自分は何を間違ってきたのか、なぜ間違ってきたのかということを心で気付けなければ、地獄から生まれてきて地獄に帰っていくあなたの転生は、これからも永遠に続いていくことでしょう。

しかし、それではその循環がこれからも永遠に続いていくのかというと、ここに意識の流れというものが厳然げんぜんとしてあるということを、お伝えしておきます。そして、そのことはあなた自身、これからまずその肉を通して、肉で知つていき、やがてその心で知つていくことになるでしょう。肉の力をいくら駆使くししようとも、どうにもならない状況に出会っていくのです。これから一二五〇年の間にそれが顕著けんちょになってきます。

真実に目覚めた意識達から流れる喜びのエネルギーは、これから仕事をしてまいります。そんな中で一二五〇年後、再び肉を持って私達は出会っていくので

す。それから約五十年かけて、私達はさらに意識の転回を果たしてまいりました。すなわち次元移行です。今、この地球上は縦、横、高さの三次元の世界です。三次元の世界の中で、私達は地球という星に適合する肉というものを持っています。人類は、長い歴史の中で数え切れないほどの転生を繰り返し、真実を探し求め続けてきました。そして、この三次元での修行を一応終え、全く肉を持たない、いわゆる次元の違う世界へ移行していくのです。これが私達がお伝えしている意識の流れなのです。その流れの中で私達は肉を持つて、今、出会っているということです。

もちろん二五〇年後の地球はこれから度重なる天変地異を受けて、その様子は一変しています。山が割れ、島が沈み、今までそうであつたように世界地図は大きく変わっていることでしょう。そのような中で人類は自分達の心の中にある神々を、いや否が応おうでも捨てる時がやつてきます。他力の神々には私達を救う力などない、自分達がどれほど愚かであつたか、本当の自分の存在にようやくにして気付いていける道筋を辿たどつていくのです。

懺悔さんげです。懺悔さんげの喜びのエネルギーが心に真っ直ぐに届きます。それはどれだけ間違まちがい続けても、許されて許されて生かされていた、愛されて愛されてきた自分達わたくしであつたという喜びです。すべてを捨て去ることが喜びでした。そして、すべてを捨て去つた後に残るものがある、この心に真実があつたと心に感じた瞬間、その瞬間こそが人類が本当に蘇よみがえる時なのです。

私は預言者ではありません。そのような低次元から、私は今、語つているのではありません。真実の世界から私は真実を告げにやつてきた意識です。そして今世は二五〇年後におけるところの準備段階、予行演習の時間です。

私は今世の自分の仕事をきちんと終えて、この世を去ります。一旦、肉の姿を消します。そして二五〇年後に私は再び生まれてきます。先にお伝えしたように私の名前はアルバート、今度は私は大きな財力を背景に生まれてきます。その財力をフルに活用して、この真実の道を広めてまいります。もちろん、その時も私の心の中には、それによつてさらに名声を得るとか、巨万の富を得る

とか、そういう思いなど微塵もないということだけは知つておいてください。

肉的な環境はすべて整えられているところに、私は今世と違い、心が敏感な状態の肉を持つて生まれてきます。心に色々なものを感じて、肉的にはどこか憂いを漂わせ、何かを探し求めている青年です。それがある日突然、まさに一瞬の出会いにより私は自分の心を開いていくのです。そのことにより私の生まれてきた意味も、それから成していくことも、すべて一瞬のうちに自分の心に蘇ります。すなわち、今世の学習で心の体験を経た私の仲間達の出現により、私もまたこの心にすべてを蘇らせていくのです。その方との劇的な出会いは一瞬のうちに喜びの波動となつて、全世界、そして全宇宙に流れていきます。そうです、全宇宙に流れしていくのです。

その時は、今と比較できないほどメディアの分野は進んでいることでしょう。従つてそのメディアを通して全世界に広まっていき、そこで心の窓を開かれる人達もあることでしょう。

二五〇年後は三次元最終の時であり、今世の学習がありますから、私達は短

時間のうちに真実に目覚めていくということです。もちろん、その頃はUFOというものは日常茶飯事の現象となっています。UFOの存在は、私達には欠かせない存在となっていることでしょう。そのことは私達がどこからこの地球上にやつてきたのかということと併せて、あなたの心で分かつてきます。そうですが、UFOは私達の仲間なのです。

全宇宙に存在する意識達、肉を持つ、肉を持たないにかかわらず、すべての意識達とともに私達は三次元から四次元へと次元を超えてまいります。

このことは、あなたの心が敏感になつてくれば、自分自身の心で分かることなのです。そうなれば私達にはこの地球上での転生以前の心の歴史があることも、また、あなたは思い出してくることでしょう。

あなたの心の中には、広い広い無限大に広がっている宇宙が存在します。あなたはその無限大に広がる宇宙そのものなのです。その宇宙とともに私達は次元移行をしていくのです。それが、これからの一五〇年後の劇的な出会いから、約五十年かけて私達が成していくことです。それが厳然としてある意識の

流れなのです。その流れの中にある私達であるということを、私はあなた方に告げにきたのです。そして、そのことにいち早く心で気付かれた方との出会いが今世ありました。すなわち意識の目覚めです。

そしてこのことは、やがてあなたもこれから何度かの転生を経られて、自分の心で感じられる時がやってくるということを、私はここで伝えさせてもらつておきます。

今までざつとかいつまんで思いつくまま話を進めてきました。

今、あなたはどのような感想を持たれているでしようか。なるほどと納得する箇所もあるでしようが、しかし全体的には分かったような分からぬような感覚でおられると思います。

そうです、その通りです。すべてはあなたの心で感じていく世界のことですし、このことをあなたの心で感じて分かっていくには、これから時を待たなければならぬと私は思っています。

先ほどから二五〇年後の来世とか、宇宙、あるいはUFO、次元移行とかいう非日常的な話題になつてきましたが、ここでまた私達の日常生活に思いを向けてみましょう。

あなたが今、どのような場所で、どんな家族を持たれ、あるいはどのような人間関係の中で日々を過ごされているか千差万別ですが、今現在どうでしょうか、あなたご自身幸せですか。では、あなたが幸せだと思うとき、それはどんな時なのか、何をもつて自分は今幸せだと思えるのか、言えるのか、客観的に見つめられてはどうでしょうか。

また逆に自分は今不幸せだと思うならば、なぜそのように思つてているのか、これもまた第三者的に眺められたらいとthoughtします。

あなたが今この世の春と思えるほど幸せな時であつても、また暗いどん底の日々を迎えていても、その中に埋没しないで、少し外側から自分というものを眺められる心の状態になられることを、私はお勧めしたいとthoughtします。

そういう心の状態から、あなたを含めあなたの周りを見渡せば、決してケ・セラ・セラではありませんが、この世には、絶対ということはひとつもないと思えないのでしょうか。

肉、形の世界において絶対ここは譲れないとか、これだけは唯一絶対のものであるとか、そういうものは本来存在しないのです。あなた自身、狭い視野の中に、自分を押し込んで、はまり込んでいることに気付いていかれたらと思します。何も貪欲に求めなくとも、そして歯を食いしばって頑張らなくても、気張らなくても、もつとそこから心を離して、心軽やかに生きていかれたらと思っています。

ひとつのにこだわるというか、執着する心では苦しいだけです。たとえ今幸せを絵に描いたようなあなたであっても、それを失いたくないとしてしがみついていたり、自分の幸せを誇つたり、その心で周りを見下げたりする思いを抱えているようでは、本当にあなたは幸せだと言えるのでしょうか。また、あなたが朝から晩まで不平不満を言い、愚痴り、嘆き、恨みつらみの思いばかり

を吐き出しているならば、あなたは間違いなく不幸せでしょう。そのあなたの心があなたを不幸せにしているということが、分かりますか。あなた自身が幸せから遠ざかつていっているのです。

肉的に幸せも不幸せも、意識の世界から見ればみんな幸せなのです。自分が今ここにこうして存在していることが、もうすでに幸せなことなのです。自分が生きていると思っている人からすれば、どうしてそんなことが幸せなことなのかと思わされることでしょう。そういう方達には、やはり形が整つて、誰が見ても幸せだと思えるものが幸せの基準になつているのでしょう。だから人類はお金によつて狂つてしまつたのです。幸せを運んでくれるものはお金であるという考えは、本当に根強いです。

お金と神様が私達を幸せにしてくれる、それが他力信仰をしてきた人達の本音です。幸せを貪欲に求める心を押し隠しているだけで、中身は無知と欲とエゴのエネルギーが渦巻いています。神を祈り、祭り、お金も何もかも献上して、

どの人よりも私を幸せにしてください、私の望みを叶えてくださいとやつています。信仰厚き人は欲深い人です。祈る姿は敬虔な姿ではありません。神様に手を合わせて何を祈るのでしようか。何を願うのでしようか。自分の健康と会社や家族の安泰ですか。本当にバカげていると思いませんか。毎年、お正月になれば恒例のようにそんな滑稽な映像が放映されています。

ある時は福を求め、団扇を奪い合っていたシーンもありました。皆さんの中にはそれを見られた方もあるかもしれません。どのように思われたか分かりませんが、それは、その姿に本当に欲深い人間の心が鮮明に表れていた一コマだと、私は感じさせてもらいました。

もとより、この日本の国は天照を神として奉つてきた国です。今現在、様々な新興宗教が乱立していますが、日本の国は古来より天照のエネルギーの中できり立ってきた国です。敗戦後、社会的、経済的に目覚しい復興を遂げ、今に至っていることも、この天照のエネルギーによるところが多大です。

そして今や日本の国における社会情勢、経済情勢、対外的環境等々、あちらこちらから不具合が出てきています。いわゆる天照の国、日本の根幹こんかんが揺らぎ始めてきたということです。形の世界に生きているほとんどの方は、まだそういうことには気付けません。しかし、これから日本の国を取り巻く環境は極めて厳しいものになっていくことでしょう。それも天照のエネルギーの強いところから、それが表れてきます。今まで君臨してきた天照のエネルギーに異変が生じてくるのです。天照のエネルギーの中がつちり固められてきたものが、崩れ始めてきているということです。まずそこから始まり、神や仏が祭られていく信仰深きところがおかしくなつていくのです。他力の神々に心を向けていくということが、どんなに人間の心を狂わせていくか、そんな幸せや喜びとは似ても似つかない様相ようしやうを呈してしていくことになるでしょう。どれだけ手を合わせ、祈り、願つても、すべてが崩れていくのです。それはなぜなのか、宗教的な表現をすれば一條の光が射したということでしょうが、まさにそのブラックパワーがこれから大きく変わつていこうとしています。

そこで、人類が眞実に目覚めるために絶対欠かせないものは、想像を絶する規模の天変地異であることを伝えておきます。何もかも根こそぎ崩れ、信じてきたものも全部失つて、そこからがようやく人類の出発です。そんな時が、もう間近にやつてきます。そんなに遠くない未来に人類が出会つていく天変地異は、ものの見事にその価値基準を覆^{くつがえ}していくことでしょう。

何度も何度も繰り返し起つてくる天変地異、もはや人類の講じる術^{すべ}は何も残されていません。成す術^{すべ}もなく、ただ天変地異を受け入れていくしかありません。それでいいのです。肉の人間には何の力もなかつたということを思い知るほどの天変地異、それは想像を絶するものです。

それが宇宙の法、これこそが唯一絶対のものです。この法は曲げることも変えることもできないのに、その法に逆らつて逆らつて存在してきたのが肉の人間だったということです。それを自らが知つていくことも、また法の中に生かされているからこそなのです。

すべてが愛なのです。愛しか存在しない、喜びしか存在しないことを、私達は天変地異を通して心で知つていくようになつていています。意識の流れが眠つていた意識を目覚めさせ、そして、その流れが段々に太く大きくなつていく、そのために必要な時間が、これからの一五〇年、三〇〇年ということになります。そういうことを経て、ただ肉の幸せと喜び、肉の繁栄を求めて存在し続け、他力の神々に救いを、パワーを求めてきたことが、本当にちっぽけな世界のことだつた、本当に愚かなことだつたと、人類は心で気付いていくことでしょう。それが厳然と存在する意識の流れであり、その流れの中の今世のセミナーでした。すなわち私とともに今世の肉の時間を頂き、これまでずっと学び続けてきたということです。そして、それもすべては一五〇年後の来世に繋ぐことにより、大輪の花を咲かせるのです。その過程の中にある今だということを、どうぞ、あなたも自分の心で知つていてください。

しかしながら私はあなたに、あなたの今世の人生をこのように生きなさいなどと言つて、あなたを縛る想いはありません。ただ心を見てくださいとは申

してきました。心を見る手順も、今までたくさんある資料がありますからそれを参考にして、あなたが生まれてきた理由、今そこに存在している訳、あなたの人生の目的、あなたにとつて神とは何か、ぜひ、あなたの心で分かつてほしいと思うだけなのです。

根本が腐り切つていては、その上にどんなに立派なものを築こうとも、それはあつけなく崩れ去つてしまう砂上の樓閣だということを、心に留め置いてください。しかし今の人類はその根本が何かということも分からなくなつてしまつたし、従つて土台が腐り切つていることにも全く気付けていない状態であると、私は伝えているのです。

人類の歴史は神と金に狂つてきたと言つても過言ではないでしょう。神の力と金の力、両者を手にすれば怖いものなし、すなわち人類の根本にはずっとこの神と金が鎮座ちんざしてきました。それらが幸せを運んでくれるものだという思いが心にこびりついています。そして、それが世間の常識です。

口で奇麗きれい事を言つても現実問題としてこうじやないか、だから私は一生懸命働き、お金を稼ぎ、幸せになろうとしてきた、神を敬い、神を貴たつび、神に祈りを捧げる、それのどこが間違つているのだという思いは、どなたの心の中にもあつたはずです。そして今もその思いのまま人生を生きておられる方がほとんどです。

私はあえてそういう人と論じ合うということは致しません。その人の生きてきた人生を全体から眺め、そして、その人の意識の世界に思いを向ければ分かるからです、感じられるからです。思いを向ければ、その人は私は本当の人生を生きてこなかつた、本当の人生が何か分からなかつた、そういうことをその人自身語つています。ただ肉を見て肉の言動だけを見ていると、まつとうに生き抜いてこられたかもしませんが、決してそれは真実のその人を語つていません。その人には根本が抜け落ちていた、その人の人生には根本がなかつたということです。根本がない人生をいくら生き永らえようとも、全く無駄であるとは申しませんが、何とも哀れを感じます。何も分からずに生き、何も分から

ずに死んでいく肉、そして中の意識達は、またしても苦しい世界に沈んでいかなければならぬのです。しかし肉体細胞は最後の最後まで愛を流し続けています。その愛に支えられて自分は生かされているということに、全く気付けなくなつたその心たるや、お粗末至極そまつしけだと言えましょう。

他力の神々も、お金も、自分の心から離していくことは大変難しいことです。地球上だけでも三億六千年の過去を持つ人類にとって、それはもうしつかりと心に染み付いてきた心癖です。そうすんなりと右から左へと流すようにはいきません。私とともに二十年、それ以上学んでこられた方々においても、今世ようやく合格点に到達された方が、さあ、どれくらいおられるでしょうか。現実はそういうものです。

そういうことを踏まえて私は伝えてきたのです。だから冒頭にもあるように、すべてを理解してもらおうとは思つていません。しかし少しずつ少しずつでいいのです。少し間違つてきたかなあと、もしあなたがその心で思えたな

ら、そこからあなたの人生を振り返る勇気を持つてください。

みんな間違つて生きてきたということには変わりはありません。あなただけではありません。みんながみんな真実を知らないまま、今世、今の今まで存在してきたということです。そして、これからも間違つてきたあなた自身をいっぱい抱えて存在し続けていくということです。

しかし、こうして真実の世界を肉で聞き、肉で知つたということは、人類歴史上において本当にすごいことなのです。今世からその歴史は新たなページを開いていくということ、新たなステージに上がつたということをお伝えしておきます。

必ず、あなたの意識の世界での動きが出てきます。今は肉の世界での出来事であり、本当にちっぽけなことに見えることも、それらはすべて二五〇年後への布石だということです。私があなたに伝えていることは、みんなそういうことを踏まえているということが、これからあなたがご自分の人生を生きていかれる中において、きっと分かつてこられることだと私は思っています。もちろ

ん、それは今世だけではないことも付け加えておきます。

真実をお伝えしている私の中には喜びしかありません。セミナーを開かせてもらっている間において、私は様々な人から様々な言葉、態度を受けてきました。もちろん喜びと感謝を伝えてくれる方が大半でしたが、罵詈雜言を浴びせられたことも多々ありました。それでも私はそういう人達もいつの日いか、私がお伝えしようとしていることを分かってくださると信じながら、今日までやつてまいりました。

もとよりセミナーでお金儲けをするとか、名を売り、顔を売るという思いが全くない私には、どのような言葉であれ、態度であっても、それによつて自分が揺れるということはありませんでした。そして私はどなたに対しても誠実に向き合つてきました。その人が分かってくれるくれないは関係なく、私自身に誠実に、そして皆さんにも誠心誠意お付き合いさせていただきました。

そして予定通りに私の仕事は進み、この本を仕上げることで、さらに総仕上

げをさせてもらつて いる次第なのです。

もう私は本当に今最高に幸せです。私自身の肉の人生を振り返れば皆さんとご同様、いやそれ以上に様々なことがありました。私もまたご多分に漏れず、自分の職業を通して人間社会の裏側を数々見てまいりました。私は、私を含め、人間というものは本当に愚かな生き物だと思つています。

しかし私が体験してきた事柄は、どれもこれもみんな今、私にはプラスに転じ、ただただありがとうの思いが心から沸いて出てきます。その当時はどれだけ心を落とし、心を汚してきたことであつても、みんな私には必要な人であり、必要な出来事であつたということが分かつたのです。だから私を苦しめ、自分の敵だと思つてきた人であればこそ、なお一層その人達に対して本当にありがとうございましたといふ思いが出てきます。敵は一人もおりませんでした。これが自分の体験を通して、心が見えていく過程の中で教えてもらつたことでした。敵は一人もいなかつた、この思いに到達できたとき、本当に心から嬉しく思いました。苦しみは外から来るものではなく、外から与えられるものでもな

いということに、私は心で気付かせてもらつたのです。心を広げていくことが喜びでした。様々な出来事、色々な人々が私を鍛えてくれ、己という肉を崩してくれました。今はもう、ただただありがとうございました。

心を落とし、心を汚し、苦しみ抜いてきた人ほどいいのです。今の今まで間違つた方向を向いていても、その次の瞬間真実に目覚めていくというか、間違つてまいりましたと、懺悔ざんげの思いが噴き出てきて心が一変することもあり得るのです。

人間というものは本当に愚かですが、またそういう体験に出会えるかも知れないと思うと、なんて幸せな存在なのだろうかとも思います。

肉の小さな殻の中に自分の心を閉じ込めたままでは、そんな素晴らしい自分と出会うことは決してありません。肉の殻を突き破り、己の本当の姿を垣間見た瞬間から、今、存在していることそれだけが喜びであり、幸せであるということが心で分かつてくるのです。

ぜひ一度、あなたの心で始めてみてください。私は嘘は申しません。ただ、あなたはあなたの心を見るということをやつていけばいいのです。そうすれば、どんなにあなた自身が愛され許されてきたかが、あなたの心に響いてくる日がいずれやつてくるでしょう。それはあなたの身体、あなたの家族、あなたの人間関係、あなたの仕事等々、あなたを取り巻く環境を通して、あなたに伝えてくれるようになっています。

それらはみんなあなたに対するメッセージです。そして肉で言えば不都合なことかもしれません。それはそうでしょう、肉で調子よく思い通りに事が運んでいては、誰も立ち止まって自分を振り返ることはしません。それでは間違った道をさらにどんどん進み、さらに膨大な闇を垂れ流し、そして、それがまた自分に返つてくるという循環の中から決して抜け出せません。

そしてまた、たとえ振り返る時があつても、心を見るということを知らなくては、肉で何とかしよう、形を修復しようということだけで終わってしまいます。後は自分の心を納得させる最もらしい理由を並べて、その場その場を切り

抜けていくだけです。それでは自分をごまかして、自分を偽って、自分を抑え込んでいく結果に終わるだけで、今までと何ら変わることはありません。たとえ形は修復され以前よりよくなつても、自分を偽って生きていくその心は変わらないのです。それではあまりにも自分がかわいそそうだと、そう思いませんか。そこで心を見るということを知つていたならば、同じ現象に出会つていっても、きっとその現象により一味違つた自分を見るというか、自分の成長を感じられるのではないでしようか。

世間の荒波にもまれて人は成長するのではありません。その人それぞれの苦労が、本当にその人にとって肥やしとなつていくのは、それぞれが心を見られた時です。今までの現象が、みんな自分には本当に必要なことであつたと心から実感された時、初めて苦労が苦労でなかつたということが感じられてくるのです。今、自分がここにこうして存在していることがただただ嬉しい、ふつふつとその喜びが心に起こってきます。色々なことはあつたけれども、それはこの幸せを心で感じ入るためのものであつたと、心の底から思えてくるのです。

自分の内面から本来人間の持つ智恵と勇気、賢さが溢あふれてくることが分かつてくると思います。そして、そうなつてくれば自分の心の中には大いなるパワーが存在するのだということも、またはつきりと感じられてくると思います。

波動は正直です。波動は正直にあなた自身の今現在の心の状態を語っています。どんなに表面を取り繕つくろつても波動はごまかせません。しかし波動の世界を知らないもの同士では、互いの肉で確認できるものに、それぞれが今持ち合っている基準を加味して決定付ける、それを基準として、それぞれの人生を生きているということでしょう。

どんな場合においても自分で選んで、自分で決めて、そして、その結果をまた自分が受けていく、これが大原則です。しかし選んで決めて結果を受けられない、すなわち責任をみんな転嫁てんかしていくのが今現在の私達の現実の姿だと、私は思っています。

世間並みに生きてきた私であるのに何でこんな目に遭うのか、それはきっとあのせいで、これが原因かと、決して己が使ってきた思いというものに心を向けません。正しい自分が中心にあるから、まさか自分が間違っているなんて絶対思えないのです。その方にとつて自分を崩すということは大変なことなのです。我がを張つて生きてきて、これが私だという思いがこびりついてしまつている人に向かつて、あなたが間違っていますよと真正面から言つても、それは拒否されるだけです。やはり、その人はその人に与えられた時間、空間の中で、自分で気付いていくということしかありません。

しかし真実はひとつであり、みんな真実を求めて存在し続けてきた意識ですから、どれだけ頑固で強情な意識であろうとも、いつの日にか真実に到達することでしょう。それは何十億年、何百億年かかるかもしれません。心で気付くまで、その方の地獄は続していくということです。

そこで、あなたはコペルニクス的転回という言葉を「存じでしようか。太陽

が地球の周りを回っていたというのと、太陽の周りを地球が回っていたというのとでは、根本的に全く違っています。まさに一八〇度の転回です。このコペルニクス的転回が私達にも起こつてこなければ、眞実は見えてこないという意味で、私はセミナーの中でこの言葉を引用してきました。

そうです、肉から意識への転回、肉が自分だという思いから、意識が本当の自分の姿であるという心の転回が必要不可欠のことなのです。

この意識の転回、心の転回はそう簡単にはいきません。肉が自分だとする思いは非常に根深いです。現に目に見えない世界があると感じておられる人でも、その人の根本は肉です。肉を基準としてとらえています。その人の中での転回が進まない限り、どこまで行つても眞実には到達しません。

しかし今世、意識の目覚めがありました。意識の世界は大きく動いています。その流れは淀むことなく順調に流れています。その意識の流れが、あなたの中からも揺さぶりを起こしてまいります。これから、あなたに形を通してそのメッセージが届けられることでしょう。さあ、あなたもこの流れに乗つてい

きましょう、ともに歩いていきましょう、そのメッセージがあなたの心に伝わってきます。素直な思いで受けていけるあなたでいてください。それは本当に優しい優しい^{いさな}誘いなのです。そのことに気付けるあなたに蘇^{よみがえ}つてくださいと、今は申しておきます。

すべては愛の中でのなされていることなのです。愛がすべての意識達に呼びかけているのです。意識達は今まさに目覚めようとしています。肉が自分だと思っているその思いだけが、その目覚めを妨げているということです。それは、どこまでもどこまでもそびえ立つ己^じという思いです。

肉の人生を生きしていくには確かに己を主張し、賢く立ち回ることは必要かもしません。そうでなければ淘汰^{とうた}されていくかもしれません。しかし、それはそれでまたよしではありませんか。あまりそういうところにこだわって戦々恐々とするよりも、流れに逆らわない、自然に悠然^{ゆうぜん}と流れしていくことが大切です。そうすればおのずと道は開けてきます。前にも申しましたように、悠久^{ゆうきゅう}の

過去より悠久の未来へと続していくあなたの時間の中の今、というふうに自分をとらえてみてください。もう少し自分というものを大きく眺めてみてください。肉のあなたが淘汰されても、あなたの本質は何ら変わることはあります。しかし価値基準が肉にあれば、そういうことは分からぬでしよう。ひとつのコース、あるいはひとつのレールから外れていくことは、人生の敗北者だという思いを抱いておられるからです。それがそもそも間違いであり、何も分かつておられないということなのです。

人にはそれぞれ道があります。本来はそれが真実へと続していく道なのです
が、肉に生きる意識はいまだ道見えず、道遠し、その中でもがき苦しんでいます。

また、真実へ続く道を見つけるのにエリートであるとかそうでないとか、何も関係がありません。ただ、その方が心を見ているか見ていないか、心を見るということを知つておられるかそうでないか、それによつて道は大きく別れます。だから、あなたがどのような状況にあろうとも、あなたはただ自分の

心を見るということを重ねていくだけです。やがて、あなたの中からの真実への叫びが、あなたのその肉を動かしていくことでしょう。それが自分に素直に生きるということです。

私達は全く逆に肉というものをとらえてきたのです。肉がすべてを牛耳ぎゅうじつていくのではありません。中からの促うながしで肉は突き動かされていくだけなのです。だから中をきちんとしていれば、あなたが肉の人生を生きていく上で、その肉を維持するのに必要なものは、すべてあなたの手中に入るということです。あくせく心忙しく身体を酷使こくしして幸せになろうとしなくとも、心をしつかりと管理していれば、悠々ゆうゆうと人生を過ごしていけるようになっています。それだけのものを自分自身は、みんな用意してきたということでしょう。その中で喜んでいけばいいだけであり、苦しんだり、嘆いたり、悩んだりするのが、もう自然から遠くにあるということです。

本来の人間のあり方を全部忘れ去つて、その本来のあり方から大きくずれた分、当然心には苦しみが起こります。間違つて存在しているから、その修

正がなされていくのは当たり前のことです。そのために肉をもらつてくるということです。だから生まれてくるということは大変なことなのです。

それを知らずに転生を繰り返してきたのですから、今世を含め過去は苦しみの連続でした。間違い続けてきた過去ともども、すべてが喜びへとようやく帰つていける道筋を、初めて肉を持つて知つたということです。

私はこんな嬉しいことはないと思います。

そんな悠久^{ゆうきゅう}の流れを心でしみじみ感じながら、あなたもあなたの人生を歩いてみませんか。自分というものを、もつと知つていく時間をできるだけ持たれたらいいと思います。

ゆつたりとあなたを生んでくれたお母さんを思つてみてください。できれば軽く目を閉じて、母を思う時間を過ぎ^こされたらと思います。

そこで、この母を思う瞑想^{めいそう}と/or/で少し話をさせてもらいます。あなたを生んでくださった肉のお母さんは、あなたと同様その肉は愚かで

す。愚かなことを言つたりしたりします。それはそれで、あなたが心を見ていく上であなたにとつて必要だから、肉のお母さんはその肉を通して演じてくれています。だから、そのひとつひとつをつかまえて、ああだこうだと言つても仕方がないことです。それよりもその母親の肉を通して、あなた自身の心が引き出されてくるわけですから、その思いをノートに書き出すなどして、しつかりと心を見つめていけばいいのです。そして、ある程度までくれば、後はその書き出した、あるいは見つめてきた思いに心を向けてみましよう。軽く目を閉じて、最初は肉の母親を思い浮かべながら、しばらく、時間を持たれたらいいと思います。そういうことを繰り返していくうちに、ふつと心が何かに触れるというか、何かを心は感じていかれるかもしれません。しかし、それが何であるかとか、そういうことにあまりとらわれることなく、そういうゆつたりとした時間を持つていくということが大切なのです。要するに五官を閉じる時間を持つということです。

母親に使つてきた心は誰一人例外もなくすさまじいものです。だから、あなたはその母親のお腹(なか)を通つて生まれてきたのです。生んでもらつたのです。どれだけ間違まちがい続けてきたか、あなたはあなたの心を見ていく中で自分の出してきた、出しているエネルギーを知つていくことでしょう。許せない、母親を呪つて、呪つて、殺してきた過去からのあなたの思いが浮かび上がつてくるのです。私は生まれたくなかった、なぜ、こんな環境の中にこんな母親から生まれてきたのか、私は苦しいだけだった、心が一齊に叫びます。たとえ今世は肉的に整つた環境の中に生まれてきて、どんなに羨望(せんぼう)の眼差しを向けられても、あなたは間違いなく地獄の奥底から生まれてきたのです。だから、どなたの心の中もそのように荒れ狂つています。そうでなかつたら肉を持つて生まれてくることは要らないのです。なぜ肉を持ち生まれてきたのか、みんな真つ黒だからです。その真つ黒な自分と出会つていくのが人生、肉を持つている時間、空間です。だから地獄の叫びを自分の心で分からない人こそ不幸な人なのです。苦しんでいる自分にまさに出会つているのに、知らぬ顔をしている哀れで冷た

い人達です。そして、もつとどうしようもないほどそびえ立っている人は、そんな自分に對して上から物申している方々です。立派で、素晴らしい自分があつて、そこから教えを垂れようとしているのです。そんな方々はいくら意識の世界に通じていると豪語しようと、所詮は真っ黒なエネルギーと通じ合っているに過ぎません。やはり、その方々から流れるものも冷たくて厳しい真っ黒な波動です。

道徳、規範、規則、慣習等々、あらゆるもので心を縛りつけ、がんじがらめの中に心を閉じ込めて、もがき苦しんで存在しているのが、真実から遠く離れてしまつた人々の心模様です。

今、世間で切れるというか、心のもやもやが暴発する人が増えているのは、みんな私達人類の愚かな世界が表面化してきているということです。みんな爆弾を抱えて存在しているのです。決して、その人達だけが特殊なのではあります。道徳や理性でどうにか抑えているものの一皮剥けばみんな同じです。そ

ういう現象を通して、みんなこんな心の世界を抱えているのですよと、互いに警告を発しているのであって、決して他人事ではありません。

これは、それぞれが自分の中を見て、自分の出してきたエネルギーを心で知つていかなければ分からぬことでしょう。みんな自分と他を区別して、私は間違つていらない、私は素晴らしいと、それぞれが作った法の中で己天下を唱えているだけです。法とはそんな得手勝手なものではありません。また自分が出してきたものは必ず自分に返ってきます。それは水が高いところより低いところへ流れるように、それが自然の理なのです。そして自分に返ってきたものは、自分が受け入れていかなければならぬということも同様です。葬り去ることも、捨て去ることもできない、受け入れていくまで何度も巡つてくるのです。歴史は繰り返されると言われますが、全くその通りです。日々の心の歴史には終わりがない、自分自身で氣付くまでエンドレスです。

人生経験が豊富な人は、人間味があつて会話に事欠かないでしょう。この世

をおもしろおかしく渡つていく術すべを会得えとくしている方は、また違つた意味で人生とは素晴らしいものだと、自己の経験から語られることでしょう。しかし人生の色々な場面をくぐり抜けてきたから、経験を多く積んできたから、人間の厚みが増して肝つ玉の大きい人だ、ふとこころ懐が大きい人だ、人生が分かつ人だという評価はどうでしようか。人生の中で色々あるということは、それだけの思いを自分が出してきたということです。その思いの結果かくが形となつて、今、自分が見ているということです。苦労話、手柄話ひろうを披露ひろうするのではなく、そこで自分の出してきたエネルギーに気付いていかなければなりません。間違つたエネルギーを放出してきたことに気付いていくために、そのような肉を持つて、そのような環境を選んできたということです。それが肉を持つ所以ゆえん、生まれてきた理由です。そのポイントを外はずした生き方は、本当に粗末な人生だと言わざるを得ません。

しかし今、世間の誰がそのようなことを口にするでしょうか。すべてが形ある世界を基準にして成り立っています。だから誰も何の疑問も持たず、日々の

生活を過ごしています。そういう中で私はあえて、このように伝えさせてもらっています。本当に考えてみませんか、本当にあなたは今までよろしいのですかと、私はあなたに問いかけています。

答えはすぐに返つてこないでしよう。まず、あなたは分からないと答えるでしょう。そうかもしれないけれども、そんな堅苦しいことは抜きにして、今のが楽しければそれでいいではないのか、まだ人生は先が長いし、そういうことはもう少し後で考えてみます、とりあえず私は今の生活がありますから、という返答があるかもしれません。

しかし、これだけは知つておいてください。私自身いい加減なことを、いい加減な思いで伝えるために、今までの年月を経てきたのではありません。伊達や醉狂で、私は二十年もかけてセミナーを開いてきたのではありません。私は収入の道を自ら放棄し、自分の真なる思いをセミナーという形で遂行してきました。もちろん無償でした。また私がその中の頂点でもなく、従つて私を中心にして組織が成立しているわけでもなく、当然そこには継承すべき地位も財産

も何もありませんでした。ただ、それぞれの心に伝わってきたもの、響いてきたものが、その人その人の言うなれば財産になつていったかもしれません。

ひとつひとつのセミナーがそこで完結で、そのセミナーで学んだもの、それぞれの心に感じたものを、これからどのように活かしていくかは、みんなそれぞれの心にかかっているということを、私は伝えてきました。このようにして開かせてもらつてきたセミナーです。もちろん、これは宗教、人の道、そんな類のものとは次元を異にします。セミナーは人生です。そんな時間、空間を皆さんと共有できたことが、私にはただただ喜びであり、私はそれで完結してきました。私はセミナーに命を懸けてきたのです。

すべての源は喜びです。喜び以外は存在しません。どんなに正論を唱えようとも、このことが分からぬ限り、人類が眞実に目覚めることはあり得ないのです。それほど人類は堕落だらくしてしまつたということです。

日々の生活に明け暮れて、目先の幸せだけを追い求めていては、あつという

間の人生です。生まれて、学校教育を受けて、社会人になり、そして家族を持ち、人は何の疑問も持たないまま社会の流れに沿つて生活を繰り返していきます。現代は社会秩序が乱れ、将来に対して不安を抱いている人も少なくないでしょう。刹那的^{せつなとき}に生きる人達も増えています。夢を持つどころか、金、金、金の世の中です。エゴ丸出しに自己の権利だけを主張し、我が身と我が家族だけを守る中で、どんな人間が形成されていくのでしょうか。みんな喜びを忘れ去つてしまつて、己の利だけを貪欲^{どんよく}に求めていくエネルギーを互いに出し合つているのが現状です。その中でどのように生きていくのか、何を選んでいくのか、何を基準にしていくのか、その根本がもう分からなくなつていてると思います。人間社会が混迷を続けていくのも頷けます。

シンクタンク、それも結構です。しかし眞実の分からない人間達がいくら頭脳を集積^{はくしゆく}しようとも、建設的なものは生み出されないので。むしろ、それらにより破壊^{はかい}の方向へ進んでいつてると表現したほうが正しいかもしません。そう破壊^{はかい}です。ただし本当の意味の破壊^{はかい}ではありません。そこには優しさ

がないからです。だから天変地異が人類にもたらすものとは全然違います。

形からすれば天変地異は破壊はかいです。形が壊れていくのですから、まさに破壊はかいです。しかし、そこに流れるものは優しさなのです。愛なのです。肉の人間から見れば無情、非情です。一瞬のうちに命が奪われ、跡形もなく生活基盤が失われていき、生きる望みを絶たれ、不幸のどん底に突き落とされたかのように見えます。肉基準の心では、まさしくそれは破滅はめつ、破壊はかいでしよう。

さらにまた、人間達の手で損失を補填ほてんできる程度の天変地異なら、まだまだ愚かな人間は何にも気付けません。自分達の中にある他力の神も捨てるとはなく、むしろ、そのエネルギーを膨らませていく結果となってしまいます。だから根まこそぎです。根こそぎ、本当に文字通り天と地がひっくり返るほどのものを、目の当たりにしていくということが必要不可欠なのです。

そして、それは何が、誰が起こしていくのか、それは私達の意識の世界が起こしていくのです。すべては愚かな人類の出してきたエネルギーの結果です。自業自得です。

形を見れば破壊はかいですが、しかし、それで人類が滅亡していくのではあります。それは建設的破壊はかいと言うのでしょうか。そこから私達は全く違う自分達へと生まれ変わっていくのです。次元移行という意識の流れの中で、私達の中にコペルニクス的転回を起こしていくものが天変地異です。それは何度も伝えています通り、想像を絶する規模の天変地異です。例えて言うならば、地軸の傾度が変わればどうなるのか、そうなれば一瞬にして何もかもが消え去っていきます。そうしないと人類は気付けない、自分達の間違いに気付けない、他力の神々を心から捨てるすてことはできません。

自分の中に本当の自分が生きている、生き続けてきたことを知つていく道を私達は歩いていきます。「人間とは何ぞや、私達は意識、永遠に生き続ける命、エネルギーである」このことが心に響き渡るような時を、私達人類は迎えることができるでしよう。そのために要する二五〇年、三〇〇年の年月、どうぞあなたも、あなたも眞実に目覚める道を一步、そしてまた一步と歩み出していくてください。

私の思いがあなたの心に届きますか。軽く目を閉じて、どうぞ私のほうに心を向けていってください。私は肉ではありません。あなたの心の中から、あなたに呼びかけている温もり、眞実の声、本当のあなた自身です。

そこで、あなたがもし今世どこかで宗教の世界、あるいは精神世界を覗いてこられた人ならば、私に心を向けなさいと言われたら少し戸惑いがあるかもしれません。しかし、そこで言われてきた私に心を向けなさいということと、私が今そう言つてのこととは全然違うのです。それらの宗教、もしくは精神世界は、すべて肉が基準だからです。そこでは人間を肉としてとらえ、そこから意識の世界を説いているのです。私は人間は意識であるという観点から意識の世界を伝えています。従つて私はあなたを洗脳する思いなど全くありません。あなた自身の心で感じていってくださいということを、再三伝えてきました。自分の心で感じられないものは信じられません。むやみやたらに私は信じないと言つているのでもなければ、信じるものは救われるなんてバカげたことは

申しません。それなら、救われたいから信じるという本末転倒を招きます。

他力、すなわち肉基準の人を乗せていくのは簡単です。欲の心を刺激して、恐怖心を心に植えつけて心を縛つていけば、後は何でも言いなりです。縛りなさい、帰依しなさい、バカですよ、そんな言葉に踊らされて自分の人生を破滅に追い込むなんて、しかし、そんなバカな人間はこの世の中に「まん」といます。それはもう言うまでもなく肉の自分を自分だと信じ、形ある世界を本物とする心が、そういう欲の世界とぴったり引き合うからです。私はそんな世界をこうして今あなたにお伝えしているのではありません。

どうぞ、あなた自身、目を覚ましてください。欲にまみれたあなた自身の心を見ていてください。

そのために素直になつて、何も持たなかつた赤ちゃんの頃のあなたを思い出して、いつてください。あなたの目の前のお母さんに全託して、ただ喜びだけを発していたあなたの心に戻つていくのです。そのあなたの汚れなき幼子のよう

な心が、あなたの心の奥底にしつかりと今でも息づいていることを信じていつ
てくださいと、私はお伝えしているのです。その心で、その目で、今のおなた
を見てください。確かに、あなたは社会に適合して立派に成長されているかも
しません。しかし、あなたの心にはヘドロのような汚れがびつしりとこびり
ついてしまっています。もちろん、それは今世の時間だけではなく過去から引
きずつてきたわけですから、その心の掃除は並大抵ではできません。みんな自
分は立派である、間違っていない、正しく生きてきたという思いが心にしつか
りとあります。特に人生の荒波を乗り越え、混乱した世の中を生き抜いてきた
と思つてゐる人は、私はよくやつてこれたものだと自分の人生を賞賛すること
はあつても、全く間違つた生き方をしてきたという思いにはなれません。頑固
に頑固をまた今世も上乗せするような人生を生きてこられた、ということなの
ですが、そんなことに誰が本気になつて耳を傾けるでしようか。

あらゆる方面で目覚しい進歩発展を遂げているかのように映つてゐる人間社
会に、忘れ去られたものがあります。唯一、大切なものがないために高く積み

上げられたこの社会は、あちらこちらから不協和音を奏で始めています。やがて、それらは聞くに堪えない騒音となり、それで初めて何かおかしいということになるのでしょうか。そこへ考えられないような天変地異が次から次へとこの地球上に起ころてくると、否が応でも何かを考え始めるでしょう。そういう時がやがてくるまで、もうしばらくです。

肉を本物として生きる心に真実は届きません。何が本物で、何が偽物であるのか、それを見極める心の目が曇つてしましました。周りを見渡してもみんな自分と同じだから、何の疑問も抱かずに安穩と時を過ごしているだけです。そこへ私の申し上げているような異質なものを耳にすることで、少しほそうだろうかと思うけれども、また日常に戻つていくのです。なぜならば、そこが肉にとって居心地がいい場所だからです。肉を喜ばせ、肉を楽しませる、それのみに心を向け、心を使い、そのために肉を動かしていくことが生きていくことだと思い込んでいるからです。自分の中にたくさんの自分が生きていて、その自

分を救うことが自分の今の仕事などと言われても、にわかに信じることなどできません。私はそのことがよく分かつていて、それでも少しでも耳を傾けてほしい、心を向けてほしいと思っています。それは、私は意識達の叫びを心で感じてているからです。私は意識の世界の実在、宇宙の法というものを心で感じています。私が語っていることは、私が修行をして編み出したものでも、到達した悟りの境地の類などでもありません。これは法なのです。唯一絶対の宇宙の法、流れです。その流れに沿って、これからが展開されていくことを私は伝えにきたのです。もちろん、こうして今、私とあなたとが出会わせていただいているのも、その流れの中の一端であると私は申してきました。流れは淀みなく流れています。流れに逆流するものは自然淘汰しぜんとうたつされていきます。それが肉の目ではなく、心の目で見ていけば、心で感じていけば分かることだということを伝えています。

人生八十年、健やかに過ぎすごされてもそれから先があるので。死ねば終わり

ではありません。あなたの意識の世界はずつと永遠に続いています。ということは、あなた自身が永遠に続いているということです。そして今、生まれて死んでいくという転生の中で、今世ようやくあなたはそういうことを告げてくれるチャンスに出会っているということです。だから肉のあなたは気付けなくとも、あなたの中の意識達は本当に諸手もろてを挙げて喜んでいるのです。それを肉のあなたがどれだけ信じていけるかということでしょう。

私はあなたの肉に向かつて語っているのではないことを、あなたが分かつてくださるには、私に思いを向けて、私の波動の世界を感じていくことが必須条件です。そうすれば私を肉で知つても、知らなくても、私はあなたの心の中から語っている本当のあなたであることが分かつてくると思います。これは頭では分からぬでしよう。いくら頭を巡らしても出てくるのは疑問と疑念だけです。

頭を巡らせば「洗脳されたたくない、そんなことは信じられない、信じない、何が意識の世界だ、そんなものには騙だまされるな、もつと肉に心を向ける、お前

は幸せになりたいのだろう、ならばお前の肉の喜びと幸せをもつと求めていけ、お前の周りはみんなそうだ、その肉を表せ、その肉を高めろ、そして金を手に入れろ、そうすれば幸せも喜びもお前の思い通りだ、何でも願いが叶えられるぞ、そんなまやかしに心を染めていけば後で泣き見るのはお前だ、今更何を言つてはいる」そのような思いが心から出でてきます。すべてそれは本当のあなたをその心から捨て去つて、肉のみに生きてきたあなたの心の歴史が、そのように語つてはいるのです。

しかし、そこでもう一步踏み込んで、自分自身の心に尋ねてみるのです。

「今、私にそのように語つてくれてはいるけれども、本当にあなたはそれで幸せだったのですか、あなたは寂しくありませんか、あなたは一体誰なのですか、私に何かを伝えようとしてくれてはいるではありませんか、あなたはそれを本心から言つてはいるのですか、間違つてはいると思いつつ私にその苦しみを語つてくれてはいるのですか、あなたも本当のことを知りたいのでありますんか」そうやつて自分で対話をしていくのです。最初から上手にできない

かもしれません。しかし、どなたの心の中にもお母さんのお腹なかを通って生まれてきた事実があります。お母さんのお腹なかを通って生まれてきたということは、その時に本当のお母さんの思い、母の温もりに触れてきたということです。その母の温もりは決して消え去るものではありません。その母の温もりが、あなたのなかであなたに答えてくれるのです。真剣に生きようとしているあなたに伝えてくれているのです。ただ、それを肉が自分だとする厚い壁が邪魔をして、今、まだあなたの心に届いていないだけなのです。母の温よりも、その厚い壁も、あなた自身です。ただし母の温もりはあなたの心中にもともとあつたものであり、厚い壁はあなた自身が長い転生の間に作ってきたものです。だから自分の心よみがえを見るということを繰り返していくば、どなたの心にもその母の温もりが蘇よみがえってきて、厚い壁が段々に、ときには一瞬にして消え去っていくということが起こつてくるのです。その意識の世界の仕組みを、私は様々な角度から伝えてきました。

確かに三億六千年、それ以上の心癖を弱めていくのは大変困難なことです。しかし、あなたが素直な心を思い出し、欲得なしに本気になつて自分の生き方、死の方を考えるなら、私がこの本を通して伝えようとしていることは、きっとあなたの琴線に触れていくことでしょう。

あなたが過去においてどんな人生を歩いてきたかは問題ではありません。それよりも、その時どんな思いを使い、どんなエネルギーを流してきたか、自分の出してきたエネルギーを、どのくらい感じてこられただろうかということが大切なことなのです。私は一人でも多くの方に、なぜ自分が生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、ということを立ち止まって考えてほしいと思っています。そして、この本がそういうことに触れていくきっかけになつてくれればと思っています。

私はあなたに本当の幸せと喜びを知つてほしいと心から願う者です。そして本当の幸せと喜びはあなたの中にある、あなた自身が幸せ、喜びの存在であることに心で気付いていくくださいと、お伝えする者です。

毎日を喜んで、楽しんで過ごされているのは、それはそれで大いに結構かと思ひます。しかし、それだけに踏み留まつてほしくない、やはり本当の人生を生きていくてくださいという思いがあります。誰かに依存する、あるいは何かを頼りにする生き方ではなく、一人ひとりがもつと自分を大切にしていくてください、もつと自分を信じていくてください、まず、ご自分が本当に幸せになつてください、いえ、すでに幸せなご自分であることに気付いていくてくださいということを申し添えておきます。

私達の意識の世界が現象化したものが形の世界です。形を通してそこから何かを学んでいくことが、本来の人間の生き方です。ところが、そうではありませんでした。自分達の采配^{さいはい}で形の世界をうまく操ろうとして悪戦苦闘してきたのが人類でした。「形の世界は意識の世界が現象化されたものである、最初に意識ありき」と、はつきりと伝えた人はおりませんでした。形の世界の中で法を侮^{あなど}つてきた人類に、本当の幸せも平和も、訪れないことを知つていか

なければなりません。

本末転倒^{ほんまつてんとう}のことを平気で、しかも堂々とやつてきた人類の愚かさは、今、声を大にして語らなくても、やがて時がそれを証明してくれます。さあ、その時は大変ですよ、大変な状態^まを目の当たりにして人類はどのような行動に出るのでしょうか。いくら頭脳を寄せ合つて、そして神を祭り、祈りを捧げても、襲いくるものは容赦^{ようしゃ}なくその勢いを弱めることはありません。一瞬のうちにすべてが消え去つていくのです。

それが私達が書いてきたシナリオです。次元移行のために書いてきたシナリオは、正確に狂うことなく、今、着実に進んでいます。人類よ目覚めなさいと、喜びのエネルギーが天変地異を起こしていくそのシナリオの中の一部が、今世のこの時間、今、私とあなたがこのようによく出会わせてもらつている時間です。その中で私は自分の心で感じ、確信しているものを、このように伝えさせてもらっています。私の思いはそれで完結なのです。お伝えしたものがあなたがどのように受け取り、どのように扱つていくかは、私の関知するところではあり

ません。

確かに分かつてほしい、分かつてくださいという思いはあるものの、それは私の中では苦しみにはなりません。なぜならば私は私の心で感じている世界が本物であることを知つて、喜びだからです。これからどのような時を経て、私達はどうなつていくのか、私は心で感じています。そして、その世界だけが私には現実なのです。今、確かに肉の世界に肉を持つて存在している私ですが、私の現実はこの肉を取り巻く世界ではないことは明白です。どんなに肉の世界の素晴らしいを強調されても、反対に肉の世界の苦しさを訴えられても、そのどちらもがこの大いなる意識の流れの中では取るに足らないことであり、いずれ消えていくものであることを知つています。だから私の世界は、そんな世界とは無縁です。ただ肉を維持するためにはほんの少しかかわつていてるだけで、後はそういうもので自分の世界が乱されることはなく落ち着いています。日々、喜びで過ごせることが喜び、私はそんな毎日を送っています。

本当のことが分からなければ、生きることは苦しみで、その苦しみに喘いで

いる自分だけしか見えません。そんな自分が嫌で見たくないから自分から目をそむけ、人は心を外に向ける方法を次から次へと考え出します。心を紛らわせる何かに、はまり込んでいきます。

そして現実から逃避して無気力に生きていくか、もつと素晴らしい自分になろう、生まれ変わろうと自分に鞭打つか、ただ時を安穩に無事に過ごせることだけを願つていくか、どれにしても本当の人生の目的から大きくずれた人生を自ら選ぶ結果になつていくのです。そして、その心には新たな苦しみが山積みされていき、自業自得の濁流に押し流される転生を繰り返していきます。

もう自分のために生きていきましょう。生まれてきたということは、あなた自身が苦しみの中からようやく手に入れたチャンスなのです。肉をもらうということをどれほど切望してきたか、みんな忘れ去つてしまっているのです。肉を下さい、私を生んでくださいとお母さんに願つたその思いというものは、ただひたすらに、この苦しみから自分自身を救い出したいと懇願してきたものです。

立派な人物にならなくてもいいのです。自分自身が生まれてきた本当の意味を心で知つていく人になつてください。

強く生きるということはどういうことでしょうか。ひとつ信念、思想、信仰、信じるものを見生大事に抱え、それを頼みの綱として、清く、正しく、美しく生きていくことでしょうか。歯を食いしばつて何くそと逆境をバネに必ず幸せをこの手につかむんだとか、あるいはひとつ目の目標を掲げて、それに向かつて七転び八起きの精神で頑張つていくことでしょうか。

私は本当の優しさがどういうことか知らない人は、決して強く生きていくことはできないと思います。

そして本当に優しいということは、相手にただ単に慈しみ、哀れみ、憐憫の情をかけるというのではありません。もちろん優しく言葉をかける、優しい態度を示す、それはあなたの心の中に優しい思いがあるから、それを肉で表現すればそうなつていくのでしょうか、しかし、それは肉的な優しさであつて、本

当の優しさは自己供養という作業を通して、あなたの心の中からどんどん沸いて出てくるものなのです。そして本当の優しさは自分が出そうとして出るものではありません。すなわち自分を自分で受け入れていく作業を、自分の心の中でどんどん進めていかない限り、本当の優しさは分かりません。そして、その自己供養を通して沸き出てくる優しさというものが肉にもじみ出てくる、それが言葉となり態度となっていくのが本筋だと思います。

「ここでまた聞きなれない言葉、「自己供養」という言葉が出ました。

これまでに書いてきましたように、人生の目的はこの自己供養ということになります。自己供養とはもちろん造語です。自分を自分で供養する、すなわち地獄に沈み込んで苦しみ喘^{あえ}いでいる自分に本当のことを伝え、ともに喜びの自分に帰つていこうとする作業です。

言うまでもなく、この作業をするには、まず自分の実態を心で知り、感じていくことから始めていかなければなりません。自分の実態とは、自分の意識の

世界ということです。そのために心を見るということを伝えてきました。心を見せてくれる教材は、あなたの周りにはたくさんたくさん用意されています。それらのものを通して、間違ってきた自分、苦しんできた自分と出会っていくのが肉を持つ時間、いわゆる肉の人生だということも伝えてきました。

そして、その間違い続け、苦しみ続けてきた自分だけが自分であるのかというとそうではなく、本当の自分がちゃんと心に存在することも伝えてきました。

本当のあなたは、その心に真のパワーを持つ喜びの存在です。限りない温もりと優しさを心から放出できる存在なのです。それを押し止めて、そんな自分を捨て去つて、無知と欲とエゴの中を生き続けて、真っ黒なエネルギーを垂れ流したまま、この宇宙に存在し続けてきた、それがあなた自身の今の実態です。そのあなた自身は、今もなお苦しみの底に沈み、さまよい、救いを求めているのです。その自分を救っていく道を、ただひたすら歩いていくことが自己供養の道です。

自分を救つていくのは自分にしかできないことなのです。だから、それをしていくために私達は今、肉という形を持つてゐるのです。しかし肉を持つてゐる、つまり生まれてくる本当の意味が分からぬまま、知らないまま肉は成長していき、肉を楽しませ、喜ばせるという肉の喜びと幸せのみを求めていく人生を繰り返していきます。その結果が今、自分に返つてゐるだけのことです。もちろん今世だけの結果ではなく、はるか遠い過去よりの結果が、あなたの心の中に、真っ黒に凝り固まつたヘドロのような思いとなつて、蓄積ちくせきされています。そのひとつひとつを、どうぞ、あなたの心の中から解き放してください、温もりへ喜びへ返してください、というのが自己供養です。

自己供養という説明が続きましたが、その自己供養を通して本当に優しいご自分に蘇よみがえつていける、喜び溢あふれるあなたに戻つていける、その道がこの本の副題にもなつてゐるよう、アルバートとともに歩く道、アルバートとともに生きていく道です。

そうです、私達はみんなアルバートとともに歩いていく意識です。本の最初のほうで、アルバートとは二五〇年後にアメリカに転生してくる私の来世であると記しました。^{しる}アルバートとはその肉の名前であることは事実その通りですが、ここで言うアルバートとともにアルバートとは、まさに喜びの波動、喜びのエネルギー、愛のエネルギー、そして本当の私達を指してそのように伝えております。

あなた方はこのアルバートの波動の世界に出会うために、何億年、それ以上の転生をしてまいりました。そして母を捨て、温もりを捨て、本当の自分を捨てて地獄の奥底を這い^はいざり回つてきた意識達が、喜びの、そして温もりの波動と出会う時間、空間が、ようやくこの三次元で実現されたのです。

このアルバートの波動を伝えるために、私は今世肉を持つてきました。それは三次元のあなた方に伝えるためには、私もやはり三次元のこの肉が必要であつたからです。だから私は前にも記しましたように、今世初めて肉を持つたということです。もちろん肉を持てば、もうご承知のように愚かな肉をまとう

わけですから、様々な苦しみを心に抱えて生きていきます。真実を知らない間は、どんどんどんどん肉にまつわる汚れや垢あかを心に蓄えていくのです。

私はその汚れや垢あかを、心を見るということを通して、丹念に自分の中で掃除していました。やがて私は何のために生まれてきたのかということを心で知つていき、そして心で分かつた真実の世界を、セミナーという時間、空間を頂き、お伝えしてきたという次第です。

これまでの説明で分かるように、このアルバートの波動、アルバートの世界を感じていくことが、セミナーの究極的な目的でした。アルバートを知らない人達が織り成すこの世のことは、所詮しょせん、地獄の世界の出来事です。それは今、自分達のいる世界を、自分自身形を持つて、そして形を通して自分に見せていい、教えている世界だということです。そのような中でどんなに榮耀えいようと榮華えいがを極めても、一番、二番の競争を繰り広げても、地獄は地獄に違ひないではありますか。そのような地獄に浸り切つていては、絶対、幸せで喜びの世界が広が

るわけはありません。地獄の世界をつかみながら、その世界にいながら幸せになりたいと言っているのだから、もう矛盾だらけです。そこから半歩抜け出し、一步抜け出し、そして、その世界から飛び出していくこと、すなわち意識の転回をし始めてこそ、開けてくる幸せ、喜びの世界です。

同じ循環の中を、しかも悪循環の中をグルグル回っているということに早く気付いていいってください。気付けるか気付けないかの違いです。その違いは、しかし計り知れないほど大きいです。天と地との差どころではありません。そのような世界のことを、私はセミナーを通して皆さんとともに学ばせていただきました。そして基準が違えば、私がお伝えしている世界と全くかみ合わないことも示してまいりました。

信じいくのも、信じていかないのも自由、何を信じていくかということも、みんな自分の選択です。そして自分が選択したものはきちんと自分で責任を取らなければなりません。取らなければならないというよりも取るようになつて

いるのです。私達は愛の中に生かされている意識だからです。それが愛です。愛はひとつです。愛は変わることなく、すべてに平等に流れています。その流れをせき止めて、または違う流れを作ろうとして、自ら苦しみ続けてきたということを心で気付き、そして本当の自分自身に懺悔するあなたに蘇よみがえつてくださることを、ただただ待ち続けております。

あなたは待たれている幸せな存在です。どんなに時が巡ろうとも、本当のあなただけはあなたを見捨てません。どんなにこれからも間違い続けて存在しようと、本当のあなたはあなたをただ信じて待つていいだけです。それが真実の世界、あなたが本当に帰る世界です。その世界に戻つてきなさい、帰つてきなさいと、いつまでも呼び続けています。私はその世界に生き続ける意識、だから何度も何度もこのようにお伝えしています。私は喜びだからです。私の世界には喜びしかありません。その私の世界にあなたの心を合わせていつてください。

私達は大いなる意識の流れの中で、今、このようにして肉を持つて存在しています。肉を持たなければ、あなたは私と出会うことは叶わなかつたことでしょう。

肉を持ち、肉を通して知る真実の世界、その世界を知れば知るほど、今世生まれてきたことが、どれだけ喜びであつたかが心で分かります。ひとつ肉をもらうこと、それだけが喜びであつたのです。そのことに心で気付いた方、その方の人生は本当に幸せな人生だと言えましょう。私はそう断言できます。

決して消え去ることのない波動の世界の実在を心で確信されるということは、人類の長い歴史の中で初めてのことなのです。肉を持ちながら真実の波動の世界を広げていける、これは奇跡でも何でもありません。これこそが意識の流れなのです。その流れを心で感じられる方とそうでない方、当然の如くその生き方、死に方が違つてまいります。肉に対する思いが完全に違つてきます。何を思い、何を考え、そして、あなたはこれからどのように生きていかれますか。私とともに生きていませんか。私とともに歩いてみませんか。あなた

自身の過去を振り返りながら、そして、そんなたくさんあなた自身を心に思
いながら、いつもいつも私を思ってください。私はあなたがどんなに苦しくて
間違った道を歩いてこられたか、よく知っています。それはあなた自身が本当
のことを知らなかつたからです。もちろん本当のあなたを捨て去つたのは、あ
なたに他なりません。だから、あなたはずつと苦しみの中にあつたのです。も
う苦しむことはやめにしませんか、私はあなたにそのように呼びかけていま
す。どうぞ、あなたの心の中でご自分の叫びを聞いてあげてください。その声
があなたの心に届く優しいあなたに蘇よみがえつていてください。私は待つていま
す。あなたの心の中でいつまでも待つています。あなたが気付いてくれるの
を、私は喜びで待ち続けています。

私は意識の流れの中にある自分というものを感じています。意識の流れは
厳然げんぜんとしてあり、それのみが真実です。すべての意識が、この流れの中で真実
に帰るために存在しています。その流れが自分の中で見えてくるというか、感

じられなければ、あなたの肉、そして、その周りの出来事はみんな苦しみとしてしかとらえられません。肉の幸せ、喜びも、そしてまた肉の苦しみも、みんなその根本が同じなのです。肉の幸せ、喜びが幸せで、肉の苦しみが不幸せということにはなりません。根本が分からず、根本が腐つていればみんな間違いがあり、みんな苦しみなのです。しかし、あなたが真実に出会うためにそれらはみんな必要なことなのです。今、あなたが肉で幸せでも、肉が苦しんでいても、それらはこの意識の流れからすれば、ほんのちっぽけな出来事です。それを大きく大きく動かせない現実として心がとらわれていくから、何も見えず、ただ苦しみが苦しみとして目の前に広がっているだけです。そして、そこから逃げようとしても、避けようとしても、消し去ろうとしても、それは叶わないことなのです。あなたがそれを受け止め、受け入れていく以外に、あなたがその苦しみから解き放されることはありません。私はそれが心で分かったのです。それらはみんな温もりを、安らぎを、そして本当の喜びを待ち続けてくれた私自身であつた、そのことを心で知りました。

肉を持ち、肉の生活の中に今現在存在している私にとつて、何が本当の道であるのか、何を私は本当に望んできたのか、今ははつきりと答えを出すことができます。意識の流れの中に存在している私自身をはつきり感じるほどに、みんなその流れに沿つていけばいいのだという思いになりました。だから肉自ら苦しみの中に飛び込みません。肉に生きる道を自ら選ばないということです。ただ今世、真実に目覚めるまではすべてを間違い続けてきた自分自身でしたから、それらを淡々と回収していくだけのことです。誰も肩代わりはできません。そして、それらを喜びとして受けていける心が自分の中にあることを私は知っています。すべてが喜び、喜びに帰るために私は存在し続けていることを知っています。

私のこれから先の道は、もう、すでに決まっています。道が見え、その道が真つ直ぐに続いていることを感じています。

しかし、まだまだ肉、肉で生きている意識、そして真実の世界を肉で知つたものの、まだまだその道から程遠い意識、これからどれだけ真実の道を歩いていくことができるかは、本当に未知数です。手探りの中を、それでも意識達は必死になつて真実を探し求めていくことでしょう。中から突き上がつてくる思い、そのエネルギーが自分の内外から天変地異を起こし、自分自身に訴えてくるその思いは、まさに真実に出会いたい心の叫びであるのです。

真っ直ぐに自分を見つめ、真っ直ぐに自分に物言える自分自身に蘇よみがえつてください。自分自身に物言うのです。あなたの周りの人にではありません。あなたの周りに自分の思いをいくらぶつけてみたところで、あなたの心に返つてくるものは苦しみでしかない、不満、愚痴ぐち、呪いでしかありません。どうしてそんな悪循環をいつまでもやつているのかということを、自分に聞いてください。そうしたとき、他力の渦の中に沈み込んでしまつてはいる自分自身と出会うのではないでしょうか。あまりにも無知で、自己中心的で、欲いっぱいに生きてきた何とも言えない自分の現実を、その心で知るのではないでしようか。

どんなに立派なことを述べようとも、どんなに立派な態度を示しても、自分と真向かいになつて自分を見つめるということをしてこなかつた方が、自分の現実をその心で感じた時、その時一体どうなるのでしょうか。そのようなシナリオがそれにちゃんと用意されています。否が応でもそういう現実を目の当たりにするようになつてきます。偉くて、立派で、そびえ立つ自分を離していく、真つ暗闇の中をさまよい続いているのが、自分の現実だということを認めざるを得ない、そのようなシナリオが用意されています。その時喜んでそのままに任せていくください。あなたの肉は何もすることはできません。肉には何の力もありません。肉はただ自分自身の心の現実を知つていくために必要な器なのです。そして肉とはそれだけのものであることが心で本当に分かれば、また肉を通して伝わつてくる世界の幸せと喜びは格別のものとなつてくるでしょう。肉があればこそ感じられる幸せと喜び、その幸せと喜びが意識の世界のそれらと完全に一致してくるのです。だから自分の本当の姿をその心で知り、眞実の世界に触れることがなくて本当の幸せも、喜びも、分かりません。

もう、お分かりと思いますが、私達は肉の世界に存在しているのではなく、意識の世界に生き続いているエネルギーだからです。喜びのエネルギーと出会うことが私達の幸せ、喜びなのです。

肉の喜びと幸せは、求めた瞬間から苦しみに変わっていくことを、あなたの心はすでに知っているはずです。そうです、それらははかなく消えていく虚構の世界です。影を追い、影にしがみつくその心は苦しみ以外の何ものでもありません。しかし影を影だと思えないところに人類の悲劇はありました。すべては間違ってきた歴史の数々です。

もう、そろそろこの辺で筆を擱くにあたって、今世セミナーでともに学ばれた方に一言申しております。

私とともに今世セミナーの時間と空間を共有された方々、本当にありがとうございます。私は今世、田池留吉というひとつの中を頂き、皆さん方とこのように学ばせていただいたことが本当に嬉しいです。ありがとうございます。

た。

真実を知るものだけが私の本当の仲間です。私はセミナーでそのように言つてきました。持ちつ持たれつ妥協をしながら生きていくのが肉の世界の常識です。しかし、それは意識の世界には通用しません。肉の馴れ合い、肉の甘え、肉のごり押しは一切通用しないことを何度も伝えてきましたけれども、どこまで心で分かってくださったのか、やはり我流で学ばれてきた方が多いのではなかつたかと振り返っています。

心からすべてを捨て去つて、一から始めるということは難しいことです。今世、私のもとに集つた方々は、それこそ過去において、やはり神というか、目に見えない世界を求めてこられたのです。真実を求めて集つてきたというのが本当のところでしょうが、そういった過去からの過ちを自分の心で認めて修正することは、やはりなかなか難しかったというのが実際だつたと思います。私は落胆らくたんして言つているのではなく、それほど難しいということを言つているのです。肉を持たなければ決して分からぬ真実の世界ではあるけれども、肉だ

として存在してきた思いは本当に根深くて、そう簡単に崩せないのでしょう。それでも今世、それぞれの心に一石を投じたことには間違いはありません。それを活かす方と、そうでない方と、また二手に別れていくからの時だと思います。

私達は強制されることも、縛しばられることも、追い立てられることもない、何もかも自由です。自分で自分を縛しばり、窮屈きゅうくつなところに追い込んでしまっただけで、そこから自由に羽ばたけばいいだけなのに、それができずにきた、狭い中に自分を押し込めてきただけです。苦しみの中に自ら飛び込んでいきました。そこに自分を幸せにしてくれるもの、喜びを感じさせてくれるものがあると信じたからです。結局、みんな外に求めてしまったことが間違いの大もとでした。学びに触れた人も、どれだけ自分の心でそのことに気付かれたかが大きなポイントでした。頭では誰しもが分かっています。二十年近く学び続けられたなら、人にお話しこともできます。自分の体験まじを交えて話をされれば、それなりの内容になります。ましてや、そこにチャネリングというスペース

を加えれば、それは人を引きつけるかもしれません。しかし、その話をされている方が本当のことを心で分かつておられるかどうかは、それによつて判断できません。端的に言えれば、本当に真実の波動が分かる人でないと、それらは見分けられないということです。そんな失敗はこの学びの中においてずっと繰り返さされてきましたが、それはこれからも繰り返されていくことだらうと私は思つています。みんなの中には、やはり他力の思いが根深く潜んでいるからです。教祖と信者のエネルギーで結びついてきた心を掘り下げて、しつかりと見てこられた方は僅かです。だから、どれだけ私が真実は自分の心の中にあるのですよと伝えても、それは素通りしてしまつてゐるのです。私は、長く私とともに学んでこられた方々も、もう一度自分の学びの年月を振り返つていただきたい、いつも原点からという思いを忘れずに、今世学ばれたことが無駄にならないように、肉の時間を使われていかれたらと思つております。

私は二五〇年後の出会いを楽しみにして待つてゐます。しかし一方で、二十年という年月を費やしてきたセミナーからも察せられるように、この道は平易

な道ではないことを、また私は皆さんに伝えてきました。事実、その通りです。その平易でない道を、これからそれぞれの実践を通して学んでいかれるということです。どうぞ本当のご自分を信じていく道を歩んでください。伝えるものはみんな伝えてきました。そして私は一人でも多くの方が心の転回を進められて、私とともに歩いていく道を見つけられることを、ただひたすら待っています。

「エルランティの光セミナー」から「UTA会セミナー」に引き継がれ、約二十年、ともに学ばせていただき、そのセミナーも一〇〇五年六月の下呂セミナーを最後に幕を閉じてまいります。セミナーの果たす役目も無事達成し、私の今世の仕事もほぼ終了させていただきました。後はそれぞれの心に任せて、私は皆さん方と笑顔で別れていきたい、二五〇年後にまたお会いしましようの私の言葉、私の思いをあなたの心に残して、笑顔で再会を約束してお別れしていきたいと思つております。

もちろん私はこの肉が許す限り、ホームページを続けさせていただきます。皆さんと一堂に会して学ばせていただくという形は一応これで終了ですが、ホームページを通して、まだしばらくの間はともに学ばせていただきたいと思つております。そして私自身の最後の勉強をし終えて、時が来れば私は喜びでこの肉を離していくことでしょう。

愚かな肉を持つた今世の人生、しかし私は最高に幸せな人生を頂きました。心の友との出会いがありました。二五〇年後に再会できる喜びの私を心で感じ、ともにこれからも生きしていくことを確認させていただき、私はただただありがとう、ありがとうの思いでいっぱいです。肉を含む意識の世界の素晴らしいを私は心に広げています。すべてこれ、意識の流れの中での必然でした。そのことが今はもう私の中ではつきりとしています。私はもう何も望むものはありません。もちろん憂えることもありません。私の心の世界は喜びです。私はこの喜びの世界に戻つていくだけです。そして二五〇年後の出会いをひたすら喜びで待つ私です。

これからも色々な現象を通して、また様々な社会問題を通して、私達にメッセージが届けられます。狂い続け、間違い続けてきた人間社会の様子が色々伝えられてきます。そして、それでもその世界から心を離すことができない人間の愚かさが、露呈ろていされていくことでしょう。そのような中において本当の喜びと幸せの道を歩いていくには、真実の世界、すなわちアルバートの波動、アルバートの世界との出会いがなければ不可能だということを、最後に強調させていただきます。

アルバートとともに生きていく、これがまさに意識の流れなのです。このアルバートの世界と出会うために、あなたが自分自身に書いてきたシナリオが、これからあなたの目の前に展開されていきます。どうぞ、そのシナリオを通して、私、アルバートと出会つていってください。私はあなたの心の中で待っています。

私は今世、このアルバートの波動を伝えにやつてきた意識です。そして、そ

のことを今はつきりとこのような形を通して伝えることができました。眞実に目覚めるために、長い転生を繰り返してきた意識の目覚めを得て、このように今あなたに伝えることができ、本当に私は心から嬉しいです。

「苦しみは愛、そして苦しんでいるあなたが間違っています。どうぞ眞実に目覚めてください」私はこの言葉を、この波動を、これからも永遠にあなたに送り続けます。

おわりに

最後まで目を通してくださって、ありがとうございました。

さて、私はここでもう一度、キーポイントとなる言葉、文章を挙げさせていただきたいと思います。それはその言葉、文章を心に留めながら、ぜひ、あなたの心で何度も何度も繰り返し読んでください。どうぞ、ご自分の心で感じることを大切になさつていってください。

波動の世界だけが真実の世界です。

真実の世界はあなたの頭では分からぬ、あなたの心でしか分かりません。心を見るということがすべてです。

心を見ていけば苦しんでいるあなたに出会います。そして、その苦しんで

いるあなたが間違っているということです。

苦しんでいるあなたは偽物のあなたです。本当のあなたに出会ってください。

本当の喜びと幸せを、その心で知つていてください。

意識の流れは厳然げんぜんとしてあり、私達はその流れの中に存在しています。

宗教では人は救えません。

天変地異は喜びのエネルギーです。

私達は喜び、すべてが喜びです。そして、すべてはアルバートとひとつです。

目まぐるしく流れる時の中で、どうぞ、ご自分をゆつたりと振り返る時間を持つてください。

なぜ生まれてきたのか、なぜ死んでいくのか、この素朴そぼくな疑問をいつも心に投げかけながら、日々を過ごされることを願つてやみません。

意識の流れ - アルバートとともに-

2005年1月10日 第1版第2刷発行

著者 田池留吉
発行者 久保明子
〒 229-1103 神奈川県相模原市橋本 7-2-9
TEL 042-771-9100
E-mail uta@tiara.ocn.ne.jp

発売元 株式会社かんぽう
〒 550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-2-14
TEL 06-6443-2171
FAX 06-6443-2175
印刷・製本 メディア・パック

© 2005 Tomekichi Taike, Printed in Japan
落丁本・乱丁本はお取替えいたします